

Title	黒本・青本・黄表紙等草雙紙簡明書誌備要
Sub Title	Kusazoshi illustrated story books of Edo period : a bibliography
Author	檜谷, 昭彦(Hinotani, Teruhiko)
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1972
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.31, (1972. 2) ,p.18- 81
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00310001-0018">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00310001-0018</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 黒本・青本・黄表紙等 草雙紙簡明書誌備要

檜 谷 昭 彦

## まえがき

この目録について概要を記しておく。

慶応義塾図書館が三田の本館に所蔵する草雙紙類は、昭和七年以降、高橋誠一郎名誉教授を中心に古書肆たつみや其他から次第に蒐集せられたコレクションであり、黄表紙を中心とする五五七点と、合巻を中心とする約七〇〇点弱の、極めて良質な逸品であることが、実は斯界にあまねく知られておらなかったものである。昭和一四年九月一〇日刊行の『慶応義塾図書館和漢図書分類目録第二巻』は、これら草雙紙類の極めて簡単な目録を含む労作ではあったが、こんにちよりみるとその不備は覆うべくもない。

とくに草雙紙はその絵題簽が表紙から剝奪されたばあい、柱(版心)の部分に記された原文字によって、外題を探る以外に簡便な方法を持たないのであり、当時にあつては資料・文献の不足によって、正確に原外題を探り当てることは不可能であつた為に、往々誤認を齎し、その作品と異なる題名を登録した例が少なくないのであつた。それは同時に、その刊年・作者・画工の誤認、とくに出版書肆を探り当てる作業の重要性が省りみられなかつた実情と相俟つて、いくつかの計らざる結論が導かれた点を認めねばならぬ結果が生じたのである。

以上のことは決して当時の、塾図書館目録の罪ではない。そしてそれを指摘する資格は私にはない。実は私はこれら黄表紙の書誌調査に従事してすでに数年になる。私の作業が早かつたなら

ば、塾図書館の和漢書目録内の少数部分の訂正は早く完了していた筈であるし、さらに私がその一員として従事していた岩波書店の編纂事業『図書総目録』収録の草雙紙に關しても、慶応義塾所蔵のものについてはいくつかの増補を報告できた筈なのである。よってそうした責は私個人にあることをまず明らかにしておくことがこの「まえがき」の第一の項目となる。

次に本稿の内容について要点を記しておく。

塾図書館の函架番号二〇三の書架には、黄表紙仕立ての草雙紙ならびに黒本・青本をふくめた五五七点の蔵書が収められている。その内容は黒本・青本・黄表紙・短篇合巻（黄表紙仕立て）・咄本・いろは歌・なぞづくしの類を含み、主として書物の形態のうえから分類されたものによっている。文学史の常識からすれば、多少ジャンルは広がるが、ここでは上記の分類に従い、ただ文政初年以降初版のものを除外して、それらを五十音順に配列し、そのいちいちに簡単な書誌を記して作成したものである。その作業において塾所蔵の書物に關しては全てに亘り、代表的なコレクションのものと比較校合してみた。主に大東急記念文庫、日比谷図書館加賀文庫、東洋文庫・岩崎旧蔵本、大阪府立図書館、東北大学狩野文庫などの蔵本によったが、絵題簽の復元・版元の

確認・作者・画工の確認・本文の異動などが作業の中心であった。しかしながらその作業の大半はこの稿に盛ることが不可能なので、与えられた紙幅の許される範囲で、ともかく成稿をみたわけである。重複本及び幸田文庫本などをあわせて総計五五六点についての私の作業の貧しい報告である。本作業をはじめに私にすすめられた本塾名誉教授佐藤信彦氏、及び森武之助教授に私の責務の一端をここに報告し、あわせて芸文学会委員長池田弥三郎教授に本稿を提出する。

なお、使用した文献は多岐に亘るが、なかでも『書誌学』復刊第二・三号所収の、坂本宗子氏「草雙紙における江戸書林の動向」、日本古典文学全集（小学館刊）の『黄表紙・川柳・狂歌』所収の、浜田義一郎氏「黄表紙題簽一覽―年代別・板元別―」、朝倉無声氏編・三村竹清氏増補・鈴木重三氏補訂の『増補黄表紙外題索引』（大屋書房刊）、岩波書店刊の『図書総目録』、近代日本文学大系二五巻『日本小説年表』山崎麓氏編、森銚三氏の「黄表紙覚へ書」（日比谷図書館月報「ひびや」に連載）、鈴木重三氏の「合巻の美術」（「ひびや」連載―江戸資料ノート）などいくつかの労作によって学び得たことが多かった。

本来ならばすでに用意してある「柱別外題索引」・「作者別・画

「工別題名索引」を付載すべきであるが、成稿の遅延から果たせなかった。さらに本稿に記した事項のうち、とくに公私の図書館・文庫や、個人所蔵のすぐれた善本については、私の不明から知ることができなかった点も少なくないと考えられる。そのため本目録で善本と認めた書物以上に、すぐれた完本がどこかに所蔵されていることは想像に難くない。それらについては私の不明を深くおわびする他はない。

本目録における誤記・誤認についての叱正を大方におねがいし、あわせて塾図書館におかけした数年にわたる迷惑を心よりおわびする次第である。

## 凡 例

- 一 記載順 通し番号・書名・よみ・巻冊数・刊年・版元名・作者名・画工名・柱刻・序跋の有無・特記事項の順。
- 二 書名 すべて原題簽（絵題簽上巻を原則とす）に拠る。現存書に題簽が欠けている場合は諸本にあたって補い、上巻の絵題簽が発見されぬときは中・下巻のそれによる。諸本すべて題簽を欠くときのみ『日本小説年表』・『図書総目録』等によった。
- 三 角書 原則として「新板」「五冊物」等の類は特記事項に記し、他はすべて原題簽のまま記す。
- 四 よみ 原題簽のふりかなに従った。但し配列に際しては現代のよみによつて五十音順にした。
- 五 巻冊数 三卷三冊、二編五卷五冊（前編が三巻で後編二巻のこと）のごとくに記した。  
この巻冊数の下にパーレンをつけ、慶大本の書誌の概要を記入した。元表紙・原題簽の有無、合綴か否か、欠本・欠丁・乱丁などの大要のみを略記した。
- 六 刊年 すべてここには初版の年次を記した。絵題簽・序文・版元の当年春の売出し新板目録等によつて確かめたものである。
- 七 版元名 絵題簽によつた。その年々の題簽で書式が異なる場合が多いが、そのままとした。たとえば、鶴屋喜右衛門は鶴喜・仙鶴堂・櫻鶴堂と書くときである。その際所在地を記してある場合は出来るだけそれも記した。本文匡郭上部の商標によつたものもある。
- 八 作者名 これは多くを最終巻最終丁裏（多く下巻の最終丁、通し丁附の十五丁裏）にある作者名によつた。他に

題簽を参照した。

### 九 画工名

右と同じ方法による。但し『小説年表』等に記入され、実際の書物に当たってみると記載例がない場合がある。北尾重政の例が最も多いが、これらは「」印をつけて記した。この印に囲まれた画工名は原書に記載が見当らず、『小説年表』などによって補ったものである。

### 十 柱刻

特殊な柱刻を除き文字のみをとった。魚尾・黒口等はおおむね略した。

### 十一 序跋

その丁附を記し、作者と異なる序跋者のみカッコ内に名を記入した。

### 十二 特記

その場合で種々であるが、存疑・諸本との異動・孤本と考えられるもの・極めて善本が他の文庫（個人所蔵のものについては知り得なかつた）にある場合などを記入した。また、慶大の登録が調査の結果他書名になっている場合なども記入した。

### 十三 配列

五十音順にした。そのさいのよみは現代の訓に従った。

### 十四 参考

慶大本が手摺れ等で題簽が欠けたり欠本だったり落

丁がある場合は、他文庫所蔵の同一書を調査して校合した。主として大東急記念文庫（東急本）、日比谷図書館加賀文庫（加賀本）、東北大学狩野文庫（狩野本）、東洋文庫岩崎文庫（岩崎本）、大阪府立図書館本（大阪府本）、大阪大学人文科学研究室蔵本（阪大本）、国会図書館本、京都大学本などを参照した。カッコ内は記入に際しての略称である。各図書館・文庫の各位の御厚情に御礼申上げる。

### 十五 参照

他の項目を参照する必要がある場合は、↓印で指示した。なお所収本のうち二三種を写真版にして当該項に挿入した。

この作業に対して終始協力を賜った本塾図書館の各位及び関場武・内田保広・今与志雄の各氏に厚く御礼申上げる。

なおこの作業は昭和四三年度の慶応義塾特別研究休暇制度、第一回適用を受けての研究の一部に相当する。

〔あ〕

- 1 鴨 嗚呼辛氣樓 しぎとあゝしんきろう 二巻二冊 (元表紙・題簽完備) 寛政元 大伝馬町大和田出店 一橋山人(二世 喜三)作 蘭徳画「はまくり」
- 2 悪拔正直會我 あくぬきせうぢぎそが 三巻三冊(合綴改装) 天明三 人形町通田所町鱗形屋孫兵衛 恋川春町画作 「正ぢきそが」序文一丁。
- 3 急度心／鐵鎖税／花春爲化 きつとこゝろに 三巻三冊(合綴改装) 享和二 馬喰町西村屋興八 内新作 喜多川歌麿画 「あけのはる」序文一オ。
- 4 揚屋町伊達豆腐屋 あげやまちだてなとうふや 三巻三冊(元表紙・題簽完) 寛政六 芝神明前和泉屋市兵衛 恋川好町作 歌川豊国画 「とうふや」鹿杖山人真顔の序一オ。
- 5 朝比奈唐子遊 あさいなからこあそび 三巻三冊(元表紙・題簽完) 天明元 馬喰町永寿堂西村屋興八 伊庭可笑作 鳥居清長画 「から子遊」版元口上一オ。
- 6 安積沼後日仇討 あさかぬまごにちのあたうち 二編六巻六冊(前編合綴、下巻のみ題簽存、後編三巻題簽完) 文化四 通油町仙鶴堂 山東京傳作 一柳斎豊広画 「小平次の前」(前編)、「小平次の後」(後編) 序文前編一オ 東洋文庫岩崎本は半紙本にして内題「小鱗小平次伝安積沼後日仇討」、口絵三丁、その柱刻「小平二口ゑ」、さらに口絵五葉を有し、刊年は文化四。本文匡郭は慶大本と同。
- 7 旭出幼源氏 あさひのでおさなげんじ 源氏布引瀧 足手書草帯畫賦 あしてがきさうしのゑくぱり 三巻三冊(合綴改装) 寛政一三(享和元) 通油町鶴屋 曲亭馬琴作 「北尾重政」画 「足手」序文二丁。
- 8 右と同じ。元表紙、題簽上巻のみ存。善本。
- 9 仇敵碓打手 あだかたきぎぬたのうちで 三巻三冊(合綴) 享和三 岩戸屋喜三郎 南柚笑楚滿人作 歌川豊広画 「きぬたのうちで」(上)、「きぬたのうちで」(中・下) 大阪府本が善本。
- 10 跡目論噓實録 あとめろんうそのじつろく 三巻三冊(合綴改装) 天明四 伊勢屋治助 桜川杜芳作 北尾政演画 「あとめろん」(上)、「あとめ」(中・下) 版元伊勢治の商標は後年のものと異なる。
- 11 口中乃甘哉名利研 こうちゅうのあまいかなめうりおろし 不曇鏡 くもらぬかぐみ 三巻三冊(合綴改装、題簽は三巻とも存) 寛政一三 通油



本) 天明八 通油町村田屋治郎兵衛 勝川春英画 「一ノ谷」  
本書は後刷本か。

22 一富士ノ二鷹ノ忝茄子 いちふじにかたしけなすび 三卷二册  
(合綴、元表紙・題簽完備) 天明八 山下町伊勢屋治助 桜川

杜芳作 北尾政美画 「一不二」(上巻) 「一ふじ」(中・下巻)  
本文下巻五丁分欠。

23 一陽來伏帳 いちやうらいふくてう 二卷二册 (元表紙・題



簽完) 寛政一〇 通油町村田屋治郎兵衛 十遍舎一九作画  
「らいふく」序文一オ 善本。写真版参照。①

24 式刻價萬兩回春 いっこくあたへまんりやうくわいしゆん

三卷三册 (合綴改装本) 寛政一〇 通油町耕書堂萬屋重三郎  
山東京傳作 「北尾重政」画 「萬兩回」序文一オ 善本。

25 一生徳兵衛三乃傳 いっしやうとくびやうへみつのでん 三  
卷三册 (合綴、元表紙・題簽完) 安永九 通油町松村彌兵衛  
作者画工不明 「三つの傳」下巻終丁欠。

26 逸本氣戯作口開 いっほんぎげさくのくちきり 三卷三册

(元表紙、上巻のみ題簽存) 文化一〇 芝神明前三島町和泉屋  
市兵衛(甘泉堂) 東里山人作 勝川春扇画 「口切」序文一オ  
一ウに「口びらき」の文あり、黄表紙の趣向であること明白  
である。加賀本の題簽には「酒は煙／酌は娘」の角書あり、慶  
大本にはなし。

27 今昔縁氣の白綾 いまはむかしゑんぎのはくりやう 二卷二  
册 (元表紙) 寛政三 山下町伊勢屋次助 桜川慈悲成作 歌川  
豊国画 「昔今」序文一オ芝全交の署名 東洋文庫岩崎本は  
「嫁入桐長持」の誤り。

28 芋太郎尻日記咄 いもたらうへにつきばなし 二卷二册 (合  
綴改装本) 安永七 大伝馬町三丁目鱗形屋孫兵衛 恋川春町  
作画 「いもたらう」喜三三の『桃太郎後日噺』などにならつ

たむねの文章が十ウ末尾にある。後刷本。

て補なう。

29 いろは短歌 いろはたんか 一巻二冊(改装) 刊年、画工等

35 嘘八百萬神一座 うそはつひやくばんじんいちざ 二巻二冊

不明 「いろはたんか」 加賀文庫に同一のものあり。安永八刊の鳥居清経画のものか。版元は「うろこかたや」か。

(元表紙・題簽完備、上・下の裏表紙欠) 寛政九 芝神明まへ三島町和泉屋市兵衛(泉市) 楽山人馬笑作 式亭三馬閱 歌川豊国画 「うそ八百」 序一オ(三馬題)

30 異療瘰癧種 いりやういびきぐさ 三巻三冊(元表紙・題簽完備の善本) 享和二 馬喰町三丁目山口屋忠助 曼亭鬼武作

○歌化物一寺再興 ↓深山草化物新話

十返舎一九画 柱刻黒口 自序一オ。

36 千支甲子報親響小槌本望 えとハキのえねうちあてたこ  
利生大黒 報親響小槌本望 りしやうハたいこく

31 式陽來福鼠配偶 いはゐづきねづみのよめいり 二巻二冊

(元表紙・題簽完備の善本) 享和三 馬喰町二丁目西村永寿堂

享和四 本材木町一丁目西宮新六 赤城山家女作 盈齋北位

(西村屋與八) 「一九」作 樹下石上画 「ねすミ」 序文一オ

(内新好述)。

37 打也敵野寺鼓草 うてやかたきのてらのたんぼゝ 三巻三冊

32 右と同じ。改装合綴本 上巻第五丁欠 手摺レ本。

(合綴、題簽欠) 内題「撃也敵野寺鼓草全三冊」文化六年卯月稿  
七年庚午正月発 曲亭馬琴著」 文化七 和泉屋市兵衛(泉市) 曲亭馬琴作 勝

〔う〕

33 虚生實草紙 うそからでたまことざうし 三巻三冊(改装)

38 旨趣向棚牡丹餅 うまひしゆかうたなのぼたもち 二巻二冊

題簽欠 寛政九 通油町篤重(篤屋重三郎) 山東京傳作 「北尾重政」画 「まこと」(上巻)「まど」(中・下巻) 自叙一オ

(改装合綴、題簽欠) 寛政六 西宮新六 樹下石上作 北尾政

尾重政)画 「まこと」(上巻)「まど」(中・下巻) 自叙一オ

39 梅澁吉兵衛發心記 うめしぶざちべゑはつしんき 二編六卷

鹿田静七版『黄表紙四十種』所収のものは『嘘から出た實咄』。

六冊(合綴二冊、題簽後編上巻のみ) 文化八 仙鶴堂 曲亭馬

34 右と同じ。改装合綴本。33とともに刊年版元等は他本によつ

六冊(合綴二冊、題簽後編上巻のみ) 文化八 仙鶴堂 曲亭馬

琴作 勝川春扇画 武筭筆耕「梅澁吉兵衛」(前編五一九丁、十一—十五丁)、「梅澁」(前編六一十丁、後編全丁) 自序前編一オ 里見八犬伝の母胎の一と推定される短篇合巻。

40 梅若姫 梅柳筆繼分 うめわかひめ うめとやなぎふでのつぎわ

け 二編六巻六冊(合綴二冊、題簽欠) 文化九 横山町二丁目 岩戸屋喜三郎(栄林堂) 東里山人作 勝川春扇画 「つき分」 自序一オ。

41 「梅若丸」 うめわかまる 三巻三冊(黒本合綴。元表紙題簽欠) 安永八 西村屋與八 鳥居清経画 「角田川」 『小説年表』 には角書「吉田少将」 本書は『隅田川恋角文字』の題名で架蔵のもの。

42 両面摺 裏面心抜路次 りやうめんずりころうへん 序文一 後編 けろじ 三巻三冊(元表紙・題簽完備の善本) 享和三 山口忠 (馬喰町山口屋忠右衛門) 十返舎一九作画 柱刻黒口 序文一オ (八片舎南一) 一ウ一九自序 『人心両面摺』(寛政一三刊)の後編。

43 運次第出雲縁組 うんしだい いづものゑんぐミ 三巻三冊 (元表紙・題簽完備、善本) 寛政一二 芝神明前泉市 十返舎一九作画 柱刻黒口 自序一オ。

44 運開大黒傘 うんぱひらくだいいくかさ 三巻三冊(元表紙・題簽完備) 寛政一一 村田屋 十返舎一九作画 「うん」 自序一オ 善本。

〔元〕〔系〕

45 屈伸一九著 ゑいやつといっくがさく 三巻三冊(元表紙・題簽完備、善本) 享和二 岩戸屋 十返舎一九作画 無柱刻

「■」 自序一オ。

46 荏戸自慢名産杖 えどじまんめいさんづえ 三巻三冊(元表紙・題簽完備) 文化二 通油町萬十(萬重) 山東京傳作 一 陽斎豊国画 「めいさん」 自序一オ。

47 右と同じ。合綴本、下巻末三丁欠。題簽中巻のみ。

48 黄金長者 江戸砂子娘敵討 こかねちやうじやえとすなごむ 白金長者 しろかねちやうじやえとすなごむ すめかたきやうち 三巻三冊(合綴本、題簽上巻のみ) 享和四 通油町鶴喜(鶴屋) 山東京傳作〔北尾重政〕画 「江戸砂子」 自序一オ。

49 江戸前嘶鯨 えどまへはなしうなぎ 二巻二冊(合綴改装本) 文化五 西村屋與八 十返舎一九作 恋川春町(二世)画 「うなぎ」 本書は現在欠本。加賀本にて補う。

50 江戸生艶氣權燒 ゑどむまれうハきのかバやき 三卷三冊

(合綴改装本) 題簽欠 天明五 萬屋 山東京傳作 北尾政演  
画 「ゑどうまれ」「ゑと生」 慶大本は寛政五版のもの、書名  
『江戸生浮氣蒲焼』。

51 繪本阿房袋 ゑほんあはうぶくろ 二卷二冊 (元表紙・題簽  
完備) 寛政六 西村與八 桜川慈悲成作 歌川豊国画 「あほ  
う」 自序一オ 角書「新板」。

52 艶道無茶盛當語 えんたうむちやもりたうばなし 三卷三冊  
(合綴、題簽下卷のみ存) 享和二 榎本 南柚笑楚滿人作 歌  
川豊国画 「もりとう」 一オ「文寛上人記初由」 本文下巻欠、  
表紙に『二代大中黒』と墨書。

53 早雲小金 艶哉女僮人 はやくもこきん あんなるかなをん  
輕業希術 かるわざのきじゆつ 三卷三冊(合綴、題簽欠) 寛政元 つるや 山東  
なせんにん

54 縁結千代之子審 あんむすびちよのこだから 二卷二冊(元  
表紙・題簽完備) 寛政一三 横山町二丁目岩戸屋 鈍々亭和樽  
作 子興画 「縁結」 自序一オ。

〔お〕〔を〕

55 多々内家一代記 たたら おほうちけいちだいき 五卷五冊  
良 (合綴、卷一と卷二を逆に合綴、題簽卷三・四・五に存) 刊年  
不明 岩戸屋 十返舎一九作画 「大内」 角書「五冊物」 自  
序一オ。

56 大雜書拔萃縁組 おほさつしよかきぬきゑんぐみ 三卷三冊  
(合綴・題簽上卷のみ存) 寛政一〇 耕書堂つたや 曲亭馬琴  
作 「北尾重政」画 「大さつしよ(二十一丁)」、「さつしよ(一  
丁及び下巻)」 自序一オ。

57 右と同じ。改装合綴本、題簽欠、56と本文紙質異なる。

58 大仕掛三界曾我 おゝじかけさんかいそが 三卷三冊(合綴、  
題簽欠) 寛政五 秩父屋 鹿杖山人(四方真顔)作 歌川豊国  
画 「そか」 自序一オ 加賀本に題簽完備。

59 大笑止浮氣鐘入 おゝしやうしうハきのかねいり 三卷三冊  
(改装合綴、題簽欠) 寛政元 伊せ治 七珍万宝作 歌川豊国  
画 「大せうし」 自序一オ 慶大本は再板本。

60 忠臣藏 大道具鋪幕無 ちうしんぐら おゝたうくし  
十一段續 だうぐいばなつとぎ 寛政六  
やちてまくなし 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政六  
泉市 東来三和作 歌川豊国画 「まくなし」 自序一オ(東来



②

山人題)。写真版参照②。

61 新猪俣 犬峯物語 るのまた おほみねものかたり 三巻三冊  
板小平六

(改装合綴補修本、題簽欠) 黒本 刊年不明 うろこかたや  
作者画工不明 「犬ミね物語」 東急本の題簽にて補う。但し東  
急本は中巻本文欠。完本は本書のみ。

62 押強者何茂八文 をしのつはものなんでもはちもん 二巻二  
冊(題簽欠) 寛政九 西村與八 桜川慈悲成作 歌川豊国画

「押のつはもの」(上巻)、「おしのつはもの」(下巻) 目録六行  
一オ。

63 爲恐肝心堪忍袋 おそろかんしんかんになふくろ 三巻三冊

(元表紙・題簽完備) 寛政四 いせ次(伊勢屋次助) 万宝門人  
見得坊作 歌川豊国画 「かんにん袋」 序一オ(万宝書)。

64 右に同じ。題簽欠、合綴本。

65 御慰忠臣藏之政 おなぐさみちうしんぐらのかんがへ 二巻

二冊(題簽欠、下巻欠) 寛政一〇 鶴屋 曲亭馬琴作 「北尾  
重政」画 「ちうしん」 序一オ(絵文字) 跋十ウ 東急本は完  
備の美本。

66 土肥 鬼鹿毛駒 と ひおにかけのこま 二巻二冊(題簽完  
備の善本) 安永元 つるや 富川吟雪画 「おにかけ」 青本

角書「新板」 狩野本と体裁異なる。

67 酒神 鬼殺心角樽 さけのかみおにころしこゝろのつものたる  
餅神

三巻三冊(元表紙、汚れ本、題簽上巻のみ存) 寛政八 鶴喜  
(鶴屋喜右衛門) 山東京傳作 画工不明 「さけ玉」(一・二及  
び一―一四丁)、「さけ」(他の全丁) 狩野本が善本。

68 臍煎茶呑嘶 おへそでわかしちちやのミばなし 二巻二冊  
(合綴・題簽欠) 寛政一二 永寿堂西村屋與八 永寿堂作 一

九画 序文一オ(十温舎一九) 「万八」 東急本が善本、加賀本に題簽完備。

69 親之敵現敷夢也 おやのかたきうつつかゆめか 三卷三冊 (題簽完備) 寛政元 つるや 芝全交作 式上亭柳郊画 「か

たき打」 目次一オ 角書「新版」

70 右と同じ、改装合綴本、題簽欠、本文刷り悪し。

71 父母怨敵現腹鼓 おやのかたきうつまのはらつづみ 二編五

卷五冊(各上巻のみ題簽存、合綴本) 文化二 仙鶴堂(鶴屋)

竹塚東子作 画工不明 「若まつ」(前編上巻)「わかまつ」(前

編中巻・後編上・下巻)「わか松」(前編下巻) 本書は後編二巻

二冊のみ存 序文一オ。『敵討梅與櫻』に合綴されてあるが、

この『敵討梅與櫻』は、『敵討松吹嵐』の書名で登録されてい  
る。↓『敵討梅與櫻』

72 父響字津宮物語 おやのかたきうつのみやものがたり 二編

五卷五冊(改装合綴補修本、題簽欠) 享和元 仙鶴堂 馬琴閔

傀儡子作 十里亭校 歌川豊国画 「父響」 目次一オ 大阪

府本が善本。弘化四版本は歌川芳虎画、本書の後編は『宇都宮  
四五之巻／五齣淨瑠璃酒肆』。

73 嗚呼愚舗話 おやばからしいはなし 三卷三冊(元表紙・題

簽完備の善本) 享和二 岩戸屋 十返舎一九作画 柱刻黒口  
のみ 自序一オ。

74 延命御詠染長壽小紋 多んめいおんあつらへぞめちやうじ  
長尺 ながじやく

ゆごもん 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 享和二 萬屋

山東京傳作 喜多川歌麿画 「小もん」 自序一オ。

75 御請合戯作安賣 をんうけあいけさくやすうり 二卷二冊  
(合綴、題簽欠) 寛政三 伊勢次 七珍万宝作 「歌川豊広」画

「安うり」。

76 御徳用黄金脚鞋 おんとくようかねのわらじ 二卷二冊(元

表紙、題簽完備の善本) 寛政一〇 西村與八 十返舎一九作画

「せうじき」(上巻)「正じき」(下巻) 自序一オ。

77 右と同じ、合綴、題簽欠。『取得貨徳用』の書名で登録され  
てあるもの。

78 女仇討菩薩角髪 をんなあたうちばさつこのつのがミ 三卷三

冊(合綴、題簽下巻のみ存) 文化一四 森治(森屋治兵衛)

感和亭鬼武作 歌川美丸画 「女仇討」 自序一オ。一ウ二オは

口絵。短篇合巻なり。別名『伊香保土産女敵討』。

79 女合法戀修行者 おんながつぼうこいのしゆぎようしや 五  
巻(合巻本、題簽卷一のみ存) 文化九 泉市 東西庵南北作

歌川豊清画(豊広の子息) 「合法」(一・二巻)「がつほう」(三巻以下) 序文一—二オに山東京傳・京山兩名のもの(文化八年文月)あり。

80 朝比奈藤兵衛 女曾我兄弟鏡 あさひなとうべえおんなそがけ  
茨の藤兵衛 いばらのとうべえ  
うだいかぶみ 三巻三冊(合綴、題簽中巻のみ存) 文化一三  
馬喰町二丁目地本問屋森屋治兵衛 歌川国信作画 「女そか」。

〔か〕  
81 怪談梅草紙 くはいだんこのはなさうし 三巻三冊(改装合綴、題簽欠) 文化四 榎本 関亭伝笑作 歌川国長画 「くわ

いだん」 序文一オ(月池山人誌)。  
82 白雨 や開帳嘶 ゆうだちや  
田を見圍りの たをみめぐりの  
二冊(元表紙、題簽完備) 寛政一二 西村興八 十返舎一九作  
画 「かいてう」、「かい長」(上の一・下の七丁のみ) 自序一オ。

83 よきことを返く 壽草紙 かえすくことぶきさうし 二編  
きくかさね返く 六巻六冊(題簽前編上巻のみ) 文化一二 泉市・東里山人作  
勝川春扇画 「かさね」合巻。

84 返咲八重之仇討 かへりざきやゑのあだうち 三巻三冊(題

簽完備) 文化二 岩戸屋 感和亭鬼武作 葛飾北周画 柱刻  
黒口 自序一オ。

85 画解平家物語 ぐはかいへいけものがたり 二巻二冊(題簽完備) 享和三 榎本 作者画工名の記載なし 「平家物語」(上巻)、「平け物語」(下巻)。

86 袖から袖へしつと引 書集芥の川々 かきあつめあくた  
手を入て 廿二人  
のかはく 二巻二冊 天明七 萬屋 唐来参和作 道曆画  
「あくたの川々」新購入のもの、題簽上巻のみ存、合綴本。

87 垣覗本草盲目 かきのぞきほんざうもうもく 三巻三冊(改装合綴本、題簽欠) 寛政八 榎本吉兵衛 十返舎一九作画  
「風神」 十三丁に欠損あり。本書は『落咄風煙神』の書名で登録されている。

88 書雜春錦手 かきまぜてはるのにしきで 三巻三冊(題簽下巻のみ存) 天明八 山下町伊勢屋次介 可笑門人崔聲作 「北尾政美」画 「せと物」角書「新板」 「口上」一オ。

89 風見脚婦女節用 かざみくさをんなせつよう 三巻三冊(題簽完備) 寛政二三 萬十(爲屋) 曲亭馬琴作 画工(北尾重政)か 「風の神」 自序一オ。

90 六冊掛 徳用嘶 河州大森塚 ろくさつがけかかしうおもりづか 三

- 卷三冊(題簽完備) 文化八 西村屋 南仙笑楚滿人遺稿 閑亭  
傳笑作 歌川国満画 「大もりつか」 「発語」一オ。
- 91 不敵討神佛應護 かたきうちたずじんぶつおうご 二卷二冊  
(合綴、題簽欠) 文化四 榎本 感和亭鬼武作 勝川春亭画  
「じんぶつ」 自序一オ 東急本が善本。
- 92 復讐阿姑射之松 かたきうちあこやのまつ 二編五卷五冊  
文化二 仙鶴堂 魁菴子清友(馬琴)作 歌川豊広画 「あこや」  
馬琴序文一オ 後編上巻のみ題簽存。
- 93 敵討安達太郎山 かたきうちあだたらやま 五卷五冊(題簽  
第一冊のみ存) 文化三 西宮 式亭三馬作 歌川豊広画 「あ  
だたら山」、「あだたら山」(十三丁以降) 識語(口上) 廿五ウ  
角書「全五冊」。
- 94 敵討安積車 かたきうちあつみのくるま 三卷三冊(題簽完  
備) 享和三 泉市 南仙笑楚滿人作 歌川豊広画 「あつみの  
くるま」 「癸亥新版目録 和泉屋市兵衛板」十五ウ。
- 95 敵討善手躑躅 かたきうちいわでのつづじ 三卷三冊(合綴、  
題簽欠) 文化元 山口屋 曼亭鬼武作 歌川豊国画 「やざへ」  
目録一オ。後編に『金沢弥二郎回国奇談』あり。
- 96 おさな敵討魚名劍 かたきうちうをなのつるぎ 三卷三冊  
兄弟敵討魚名劍
- (改装合綴、下巻のみ題簽存) 天明元 伊勢屋次助〔市場通  
笑〕作 北屋政演画 「かたき討」。
- 97 右と同じ、改装合綴本。加賀本等によるも作者名の記載な  
し。
- 98 敵討浮木の龜背 かたきうちうさきのかめがせ 二編(前編  
三巻後編二巻)五冊(題簽欠合綴本) もともと全五冊合一巻本。  
文化四 西宮新六 竹塚東子作 歌川国長画 「とろがめ前」  
(前編)、「うきゝ後」(後編) 自序一オ。
- 99 敵討鶯酒屋 かたきうちうぐひすさかや 二編六卷六冊(元  
表紙合綴、題簽欠) 文化三 泉市 南仙笑楚滿人作 歌川豊広  
画 「鶯さかや」 角書「寅新版」。
- 100 敵討梅與櫻 かたきうちうめとさくら 三卷三冊(合綴、題  
簽下のみ存) 文化二 西村與八 南仙笑楚滿人作 歌川豊広画  
「まつぶく嵐」 ↓「敵討松吹嵐」
- 101 敵討梅之接 かたきうちむめのつきほ 三卷三冊(題簽上巻  
のみ存) 享和元 和泉屋市兵衛(泉市) 南仙笑楚滿人作 歌  
川豊広画 「梅のつきほ」
- 102 報讎癡狂夫 かたきうちをそのたはれを 三卷三冊(合綴、  
元表紙、題簽欠) 寛政八 鶴屋 曲亭馬琴作〔北尾重政〕画

- 「たれを」 目錄一オ。
- 103 敵討女鉢木 かたきうちをんなはちのき 三卷三冊(合綴、題簽欠) 文化六 版元不明 市三三作 勝川春扇画 「さいみやうじ」 自序一オ 同名の黄表紙に安永六刊の亀遊作のものあり、その柱は「宅間」「たくま」。
- 104 敵討鼎壯夫 かたきうちかなへのますらを 前編三卷三冊、後編二卷二冊(前編のみ題簽完備、但し前編上巻の本文は別作品) 文化三 仙鶴堂 曲亭馬琴作 「北尾重政」画 「かなへ」 本書上巻の本文は、一九作『忠臣藏四十八文字』(寛政一三刊)のもの、柱「忠」。
- 105 敵討巖流鳥 かたきうちがなりうじま 三卷三冊(題簽上巻のみ存) 享和元 榎本 十偏舎一九作画 柱刻魚尾 自叙一オ。
- 106 報讎後日話 かたきうちごにちはなし 二卷二冊(題簽欠、105の後編、前項書と合綴) 享和元 榎本 十偏舎一九作画 柱刻魚尾。
- 107 敵討金糸之詰縫 かたきうちきんしのつめぬひ 二編五卷五冊(前編三卷・後編二卷、題簽前編上・後編上・下のみ存、合綴本) 文化二 大伝馬榎本 楚満人門人 面徳斎夫成作 歌川
- 豊広画 「ツメヌイ」 序文「楚満人」一オ。
- 108 敵討葛松原 かたきうちくずのまつばら 内題「報讎葛松原」よみは同。前編三卷後編三卷各三冊 文化五 甘泉堂 十返舎一九作 歌川豊広画 「くずの松原」 自序一オ 題簽欠 文化一〇の再板本あり。
- 109 仇討孝行車 かたきうちこうくぐるま 前編三卷後編二卷計五冊(題簽前編上巻のみ存、合綴本) 文化元 西村永寿堂 南杣笑楚満人作 歌川豊国画 「かうくぐるまぜん」(前編)、「孝行車のち」(後編) 序文一オ(狂歌堂四方真顔)。
- 110 敵討此方の世界 かたきうちこのせかい 二卷二冊(題簽欠) 文化三 山口屋忠助 十返舎一九作画 「かたき」「口序ウ」(一九)一オ。
- 111 敵討雑居寝物語 かたきうちざごねものがたり 前編三卷後編三卷計六冊(題簽各上巻のみ存) 文化三 仙鶴堂 曲亭馬琴作 「北尾重政」画 「ざごね」 自序前編一オ。
- 112 敵討讀誠囊 かたきうちさんじやうぶくろ 前編三卷後編三卷計六冊(題簽前編上巻のみ存) 文化三 泉市 南杣笑楚満人作 歌川豊広画 「さんじやう」 角書「寅新版」 東急本が善本。

113 右と同じ。後編のみ存、題簽欠、汚れ本。

○ 敵討篠川衛 かたきうちしのがへちとり ↓篠川衛

114 敵罵廻幸助舟 かたきうち しまめぐりかうすけふね 前後編

各三卷三冊(題簽後編中巻のみ存、合綴本) 文化四 泉市 南  
杣笑楚滿人作 歌川豊国画 「幸介舟」(前編)、「幸介ふね」(後  
編)。

115 加田建械 敵討白鳥關 かだのたてかい かつきうちしらとり  
長介海齋 敵討白鳥關 ちやうすけくじら

のせき 前後編各三卷三冊(題簽欠、本書の後編は欠本、前編  
三冊のみ存、改装合綴) 文化五 泉市 曲亭馬琴作 歌川豊  
広画 「しらとりの前へん」 後編は「しらとりのせき後へん」。

表紙の角書は東急本の表紙見返しの内扉による。自序一オ。

116 賣茶翁 復讐煎茶濫觴 はいさおう かつきうちせんちやのはじ  
祇園棍 ぎおんかじ かつきうちせんちやのはじ

まり 三卷三冊(題簽中・下巻存) 文化二 仙鶴堂 山東京傳  
作 「北尾重政」画 「せんちや」 序詩一オ、書肆仙鶴堂序、一  
オ。

117 右と同じ、改装合綴本、題簽欠。

118 敵討大悲誓 かたきうちだいひのちかひ 前後編各三卷三冊

(題簽欠) 文化四 村田屋 十返舎一九作 歌川豊広画 「ふ  
たりかうく」(一一五丁まで、他は無印) 自序一オ(一丁卯春

発行) 本書は『復讐兩士孝行』の改題本。↓『復讐兩士孝行』

119 敵討衛玉川 かたきうちちどりのたまがは 前編三巻後編三

巻計六冊(合綴、題簽前編のみ存) 文化四 仙鶴堂 山東京傳

作 醉放逸(北尾重政)・勝川春亭画 「たまがは」 前書一オ。  
120 敵討長太郎柳 かたきうちちやうたらうやなぎ 三卷三冊  
(合綴、題簽中巻のみ存) 文化元 西村與八 南杣笑楚滿人作

歌川豊広画 「長太郎」 裏表紙見返し出版目録を載す。

121 敵討遠森渡 かたきうちどもりのわたし 前後編各三卷三冊  
(二冊に合綴、前編上巻のみ題簽存) 文化四 泉市 南杣笑楚  
滿人作 歌川豊広画 「どもり」(前編)、「どもり」(後編) 加  
賀本が善本。

122 敵討仲間入 かたきうちなかまいり 三卷三冊(合綴、表紙  
に『心學時計算』の表紙を使用、題簽欠) 文化四 版元未詳

十返舎一九作 画工名なし 「仲間入」 自序一オ、十五ウに、  
「此板もとかたに御葉はみがきいたつて上品極精製御座候」と  
あり。『昔咄味縁熱』の改題本。

123 田形敵討柳葉山 たがたかたきうちなぎのはやま 三卷三

冊(題簽は巻数不明のものわずかに存) 享和三 泉市 南杣笑  
楚滿人作 歌川豊広画 「なぎのは山」 後編は『巖窟出世談』

本書は後編と合綴。

124 喧花屋五郎右衛門敵討浪速男 けんくわやごろうへもんかた  
朝比奈藤兵衛 朝比奈藤兵衛 朝比奈藤兵衛  
あさひなとうびやうゑかた

きうちなにハをとこ 初編五卷五冊後編五卷五冊(但し慶大本  
は初編五卷のみ、題簽欠、合綴本) 初編文化四、後編文化五

西村與八 十返舎一九作 一陽齋豊国画 「なには」 自序一オ

125 仇撃錦誰袖 かたきうちにしきのたがそで 三卷三冊(改装  
合綴、題簽欠) 文化元 西宮 樹下石上作 歌川豊広画 「た

がそで」。

126 敵討貳人長兵衛 かたきうちになちやうびやうゑ 三卷三  
冊(合綴・替表紙・題簽欠) 享和四(文化元) つたや 曲亭

馬琴作 北郷醉飽人(北尾重政) 画か 「二人長兵衛」 自序一  
オ。本書は後刷本。

127 敵討蚤取眼 かたきうちのみとりまなこ 三卷三冊(合綴、  
題簽下巻のみ存) 享和元 通油町鶴喜(鶴屋) 曲亭馬琴作

〔北尾重政〕画 「敵討」 自序一オ 狩野本が善本。

128 右と同じ。題簽欠、合綴本。

○ 敵討蓮之若葉 かたきうちはすのわかば ↓蓮の若葉

129 金比羅 敵打羽宮物語 こんびら  
御利生敵打羽宮物語 ぎりせうかたきうちはみやものがたり  
五卷五冊(元表紙・題簽一・四・五に存) 安永元 伊勢屋次

助 富川吟雪画 「はみや」 本書はその題簽によれば角書「五

冊物」とあり、版元は「油町 つたや」である。東急本によれ  
ばもと伊勢治版、慶大本はその伊勢治版の求版後刷本か。

130 敵討春手枕 かたきうちはるのたまくら 三卷三冊 文化元  
芝神明前三島町新道と泉屋市兵衛 待名齋今也作 歌川豊広

画 「ゆめの手まくら」 「しばらくのつらね」と題する序一オ  
(楚満人) 題簽欠。

131 右と同じ、合綴、題簽欠。

132 右と同じ、合綴、題簽中巻のみ存。

133 敵討美女窟 かたきうちびじよがいわや 二卷二冊(黒表紙、  
題簽欠) 明和元 西宮新六 画工名未詳 「美女がいわや」(上

巻)、「びぢよがいわや」(下巻) 東急本に下巻の題簽あり。黒  
本。

134 敵討布施利生記 かたきうちふせのりしやうき 三卷三冊  
(元表紙・合綴・題簽上・中巻に存) 享和元 泉市 南杣笑楚

満人作 歌川豊国画 「ふせ里しやう」 十五ウに出版広告あ  
り。

135 河内老嫗火敵討兩輜車 かハチのうばがひかたきうちふ  
近江手孕村 敵討兩輜車 あふみのてばらみむらかたきうちふ  
たつぐるま 前後編各三卷三冊(題簽欠) 文化三 仙鶴堂・山

東京傳作〔北尾重政〕画 「ふたつ車」 自序前編一オ 東急本が善本。

136 復讐岐枝川 かたきうちふたまたがは 前後編各三卷三冊  
(前編三冊欠、後編のみ存、合綴、題簽は後編上巻のみ存) 文

化三 泉市 南袖笑楚満人作 一柳斎豊広画 「ふたまた川」  
角書「寅新板」。

137 復讐兩土孝行 かたきうちふたりかうかう 五卷五冊(題簽  
欠、第一巻欠) 文化三 村田屋 十返舎一九作 歌川豊広画

「かたき」「カタキ」 廿五丁の丁付は「廿六丁」となっている。  
その廿六丁ウに次の広告、「道十返舎一九作中膝栗毛續編 通あぶら町 村田  
屋治郎兵衛」とあり。本書の改題本は『敵討大悲誓』。

138 敵討松寄生 かたきうちまつのやとりき 三卷三冊(改装本、  
題簽完備) 享和二 泉市 南袖笑楚満人作 歌川豊広画「や  
とりき」

139 右と同じ、題簽欠、補修本、十五丁の下半分破損。

140 敵討岬幽壑 かたきうちみさきのほら 前後編各三卷三冊  
(題簽前編中巻のみ存) 文化四 つたや 曲亭馬琴作 勝川春  
亭画 「みさきのほら」 自序一オ。

141 右と同じ、題簽前編中、後編中・下巻のみ存。

142 右と同じ、題簽前編上巻のみ存、「上」を「全」と墨にて改め  
てある。

143 敵討水滸蜀紅錦 かたきうちみつくぶるからくれなひ 三卷  
三冊(合綴、題簽欠) 文化元 泉市 南袖笑楚満人作 歌川豊  
国画 「からくれなひ」

○ 仇報都印籠 かたきうちみやこゐんらう ↓都印籠

144 復讐最上紅花染 かたきうちもがみのべにぞめ 三卷三冊  
(短篇合巻の体裁をとる、元表紙、題簽欠) 文化五 版元未詳

感和亭鬼武作 歌川国長画 「もがみ」 自序一オ 十五丁ウ  
に「三芳野多賀安作を感和亭鬼たけ著」とあり。

145 復讐娶曉谷 かたきうちよめおどしだに 前後編各三卷三冊  
(改装合綴本、題簽欠) 文化四 西宮 式亭三馬作 歌川豊国  
画 「よめおどし谷」 前書一オ。

146 敵討柳下貞婦 かたきうちりうかのていふ 三卷三冊(元表  
紙、合綴本、題簽欠) 寛政一〇 泉市 南袖笑楚満人作 歌  
川豊国画 「りうかのていふ」 三馬旧藏本。

147 龜戸村偶居復讐連歌怪談 かめどむらにぐうきよして  
慰鄙兒夜話 復讐連歌怪談 いすかのひじやわかたき  
うちれんがくわいだん 三卷三冊(題簽中巻のみ存) 文化四  
上村江見屋 十返舎一九作画 「連か」 自叙一オ。

- 148 初板元 敵討稚木花王 はつはんもと さかゆくすえ かたきうちわかきのさく  
樂行末 敵討稚木花王  
ら 五巻五冊(合綴、題簽欠) 文化四 上村江見屋 南杣笑楚  
満人作 歌川豊広画 「わか木」 東急本によれば書名『敵討稚  
木櫻』
- 149 假名手本忠臣藏 かなてほんちうしんぐら 五巻五冊(題簽  
欠) 天明四 村田屋 勝川春英画 「忠臣」(二巻を除く)、  
「忠臣くら」「口上」一オ、本書は寛政九の再版本、東急本も同。
- 150 假名手本胸之鏡 かなてほんむねのかぐみ 三巻三冊(元表  
紙・題簽完備の善本) 寛政一一 通油町萬十 山東京傳作 歌  
川豊国画 「むねのかぐみ」 自序一オ 裏表紙見返しに当年萬  
屋の出版目録あり。
- 151 右と同じ、題簽欠、合綴本。
- 152 家内手本用心藏 かなてほんようしんぐら 三巻三冊(元表  
紙・題簽完備、善本) 寛政一〇 通油町耕書堂(萬屋) 唐来  
参和作 子興画 「用心ぐら」(上巻)、「用心藏」(中・下巻)  
自序一オ 十五ウは出版目録。
- 黄金蔓掘出分限 かねのつるほりだしぶんげん ↓其身益金  
持親玉
- 153 金生樹染花鉢植 かねのなるき多いぐハのはちうへ 三巻三  
冊(改装補修本、合綴、題簽欠) 文化二 泉市 樹下石上作  
一陽齋(歌川豊国)画 「金のなるき」 自序一オ 岩崎本が善  
本。
- 154 鎌倉街道女敵討 かまくらかいだうをんなかたきうち 三巻  
三冊(合綴、題簽欠) 享和三 本材木町西宮 樹下石上作  
歌川豊広画 「女かたき打」 自序一オ。
- 155 鎌倉山料理献立 かまくらやまりやうりこんだて 三巻三冊  
(改装合綴、題簽欠、第八丁の柱を中心に破損あり) 寛政三  
伊勢次 七珍万宝作 「勝川春英」画 「こんだて」 本書十五  
ウの作者名をけずる。一オの作者名も同、再板本か。
- 156 竈將軍勘略之巻 かまどしやうぐんかんりやくのみまき 三巻  
三冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政一二 萬重 時太郎可候  
(葛飾北齋)作画 「かまどせうぐん」 十五ウに版元の「舌代」  
あり。
- 157 中華手本唐人藏 からでほんとうしんぐら 三巻三冊(合綴、  
題簽欠) 寛政八 鶴喜 築地善交作 「北尾重政」画 「唐人」  
自叙一オ 東急本が善本。
- 158 苜萱染衣日記 かをかやすみぞめにつき 三巻三冊(合綴、  
題簽欠) 寛政五 榎本 猷仙人楚門人作 「勝川春英」画 「か

るかや」(上)、「カルカヤ」。

○ かるわざ(柱による) ↓野暮大臣南郭遊

159 枯樹花大悲利益 かれきのはなだいひのりやく 三卷三冊  
(題簽下巻のみ欠) 享和二 鶴喜 山東京傳作 歌川豊国画

「大悲」 自序一才。

160 田形嚴窟出世談 たがたがんくつしゆつせばなし 三卷三冊  
後編嚴窟出世談 こうへんがんくつしゆつせばなし  
(題簽一枚存、破損多し) 享和三 泉市 南拙笑楚滿人作

歌川豊国画 「しゆつせばなし」 『敵討柳葉山』の後編、東急本が善本。



③

161 通漢楚軍談 づうかんそくんだん 一〇巻一〇冊(善本、表紙・題簽完備の善本) 明和三 つるや 北尾重政画 「漢楚」

「漢楚軍談繪盡引」一才、角書「十冊物」。加賀本は五冊物、諸本のうち本書が善本。『漢楚軍談繪盡』の書名で登録。写真版

参照③。

162 堪忍五郎稚講釋 かにんごらうをさなかうしやく 二編五巻五冊(題簽前編中・下巻存、前編三冊存、後編二冊欠) 文化

八 田所町鶴屋金助 式亭三馬作 歌川美丸画 「堪忍五郎」

自序一才、大阪府本が善本。

〔き〕

163 菊重女清玄 きくがさねをんなせいげん 三卷三冊(改装補修本・合綴・題簽欠) 明和六 版元画工未詳 「をんなせい」

東急本と本書のみ。

164 飛脚屋忠兵衛奇事中洲話 ひきやくやちゆうびやうへきしもな 假住居梅川 かりたくのむめがハ 三卷三冊(合綴、題簽欠) 寛政元 つたや 山東京傳

作 北尾政美画 「中洲」(上・下巻)、「なかす」(中巻) 前書

き一才、本書は『安倍清兵衛一代八卦』の書名で架蔵されている。



165 義女再來記 ぎじよさいらいき 三卷三冊 (元表紙—黒本—  
題簽中・下卷存) 宝曆一二 鱗形屋 画工名未詳 「さいらい  
記」 角書「新板」 東急本の本文にある版元商標が慶大本にな

い、求版本か。写真版参照④。

166 風流 大森彦七 ふうりゅう おおもりひこしち きじ  
二葉の前 鬼女物語 ふたばのまへ

よものがたり 三卷三冊 (改装補修本、合綴、題簽欠、下巻一  
冊欠) 明和五 つるや 富川房信画 「鬼女物語」  
新木曾一代記 しんきそいちだいき 五卷五冊 (合綴、題簽

卷五のみ存、彩色なし) 天明三 西村與八 南柚笑楚満人作  
画工未詳 「木曾一代記」 自序一オ。

168 木曾四天王化物退治 きそしてんわうはげものたいじ 三卷  
三冊 (黒本、元表紙、題簽中・下存の善本) 安永二 奥村 富



川吟雪画 「四天王はげ物たいじ」 本書が最善本。角書「己」。  
写真版参照⑤。

169 〇 木曾義仲一代記 きそよしなかいちだいき ↓義仲一代記  
奇妙頂禮胎錫杖 きめうてうらいこたねのしやくじやう 三

卷三冊(改装本、題簽欠) 寛政七 通油町萬屋 十返舎一九作  
画 「きめうてうらい」 自序一オ。

170 聽從淺黃餅 ぎよいしだいあさぎのいろごと 三卷三冊(題  
簽完備) 寛政二 浅草茅町秩父屋 三橋二代喜三作 (桜川  
文橋) 画 「あさ」 筋書一オ。

右と同じ、題簽欠、合綴。

172 教訓跡祭戲單 けうくんあとのまつりのばんづけ 三卷三冊  
(合綴・題簽欠) 享和元 鶴喜 曲亭馬琴作 (北尾重政) 画

「教訓」 自序一オ。

173 扇鹿目 扇鹿目 狂言末廣築 あふさきハかなめきやうげんすへひろの  
傘轆轤 狂言末廣築 からかさへろくろ  
さかへ 三卷三冊(改装合綴本、題簽中巻のみ存) 天明八 通  
油町つたや 山東京傳作 喜多川歌麿画 「末ひろ」 本書の題  
簽は諸本と異なる。諸本はその角書が「扇蟹目/傘轆轤」とあ  
り。諸本は天明八刊の萬屋の通常の題簽、慶大本は萬屋重印本  
の題簽。

174 曲亭一風京傳張 きよくていいいっふうきようでんぱり 三卷  
三冊(改装合綴補修本、題簽欠) 享和元 萬屋 曲亭馬琴作

(北尾重政) 画 「曲亭」 自序一オ(寛政辛酉年)。

175 榮花夢 金々先生造化夢 あいくわのゆめきん／＼せんせいざ  
後日話 金々先生造化夢 ごにちはなし

うくハのゆめ 三卷三冊(元表紙、題簽完備の善本) 寛政六  
萬屋 山東京傳作 (北尾重政) 画 「さうくわ」 自叙一オ。

176 金山寺大黒傳記 きんざんじだいでんき 二卷二冊(黒  
色元表紙、題簽上下完備、重印本) 天明三 鱗形屋 恋川春  
町作画 「金山寺」 初印本は鱗形屋であるが、東急本は田所町  
鶴屋金助版、本書も同様の題簽だが、所書と商標がけずつて  
ある。鶴屋金助版の求板本か。

177 狂傳和尚 九替十年色地獄 きやうでんおしやうくかいぢうね  
郭中法語 くわくちうほうご  
んいろじこく 三卷三冊(改装合綴本、題簽欠) 寛政三 鶴屋  
喜右衛門 山東京傳作 鳥居清長画 「くがい」(五丁迄)、「い  
ろたんき」(六・七丁)、「いろちこく」(八―十五丁) 自序一  
オ。

○ 臭氣靡屁 放倉榮 くさきもなびくひりくらのさかへ ↓餅腹中  
能同志、慶大本は登録上の誤り。

178 又燒直 神史億説年代記 またやきなをす  
鉢冠姫 はちかづきひめくさざうしこじつげ  
ねんだいき 三卷三冊(元表紙、題簽完備の善本) 享和二  
西宮新六 式亭三馬作画 「年代」。

179 鯨魚尺品革羽織 くじらざししなかハはをり 三巻三冊(題

籤 中巻のみ存) 寛政一 一 つるや 曲亭馬琴作 「北尾重政」  
画 「くじら」 一オに版元の宣傳を兼ねた文と絵、一ウに漢文  
体の自序。

180 楠末葉軍談 くすのきはつようぐんだん 三巻三冊(改装合

綴本、題籤欠) 宝曆一三 つるや 和祥作 「楠はつよう」  
(上)、「くすのきはつ葉」(中)、「くすのき末葉」(下)、黒本。  
岩崎本が善本。

181 前度往昔草 ぐつとむかしのいくさ 二巻二冊(改装、題籤

欠) 寛政一〇 村田屋 十偏舎一九作画 「いくさ」(五丁迄)、  
「いくさ上」(六丁)、「いくさ下」(七丁)、八一十丁は柱なし、  
序文一オ(鈍々亭和樽)

182 雲上道中記 くものうへだうちうき 三巻三冊(合綴、題籤

中巻のみ存) 寛政一〇 西村與八 十偏舎一九作画 「天上」  
「天中」・「天下」、角書「午新版」 自序一オ。

183 倉治山忠儀生不動 くらじやまちうぎいきふどう 三巻三冊

(黒色元表紙、題籤欠、下巻欠) 明和六 つるや 富川房信画  
「いき不動」

184 右と同じ、題籤上巻のみ存、本文三巻揃い、角書「新板」

185 廓花扇觀世水 くるのはなあぶぎのくはんぜみず 三巻三

冊(改装・合綴、題籤欠) 安永八 版元未詳 朋誠堂喜三二作  
北尾政演画 「利生」 序文二丁、本文一五丁。改題本に『運  
開扇子花』あり。

186 新田黒丸合戦 につたたくろまるかっせん 五巻五冊(元表

紙、題籤二一五巻存、一・二巻のみ合綴の善本) 明和五 つ  
るや 鳥居清満画 「くろまる」 序一オ 角書「五冊物」加  
賀・東急本も善本。改題本に『新義貞勲功記』あり、当該項参  
照。

○ 君臣鏡 くんしんかがみ ↓〔忠臣〕(登録上の誤り) なお

〔秀脚龍宮巡〕の項参照。

187 傾城阿波之鳴門 けいせいあわのなると 二編六巻六冊(前

編三巻欠、後編のみ存、後編の題籤完備) 文化八 文英堂  
橋本徳瓶作 歌川国貞画 「なると」 短編合巻。南北作、重信

画の六巻本は諸本あるも本書は他に所在を聞かず。

188 吾孀朝霧 傾城道中雙陸 あつまのあさぎり けいせいだうちう  
浪華夕霧 傾城道中雙陸 なにハのゆふざり

すごろく 六巻六冊(題籤欠) 文化九 泉市 曲亭馬琴作 勝

- 川春朗画 徳瓶書 「夕きり」・「夕きり」 画賛句一オ (馬琴)
- 189 化粧坂閨中仇撃 けわひさかねやのあたうち 前編三巻後編二巻、計五冊 (元表紙存題簽は欠) 文化四 村田屋 感和亭 鬼武作 蹄齋北馬画 「けわい坂」 目錄一オ。
- 190 現金青本之通 げんきんあをぼんのかよひ 三巻三冊 (合綴補修本、題簽欠) 天明七 鶴屋 全交門人芝甘交作 北尾政美画 「青本之通」(上)、「青本通」(中)、「本のかよい」(下) 版元口上一オ、跋文十五ウ(芝全交)、東急本が善本。角書「新版」。
- 191 賢愚漆餞湯新話 けんぐいりごみせんたうしんわ 三巻三冊 (改装合綴、題簽上巻のみ存) 享和二 通油町鶴喜 山東京傳作 歌川豊国画 「賢愚」 幸田文庫本 自序一オ。
- 192 源氏重代劍宮居 げんじちうだいつるぎのみやゐる 三巻三冊 (黒本。題簽中・下巻存) 宝曆一三 つるや 和祥作 鳥居清満画 「つるぎの宮み」(上)、「劍のミヤゐ」(中)、「つるぎの宮居」(下) 角書「新版」
- 193 夫京都見物左衛門 それもみやこけんぶつざへもん 二巻二冊 (元表紙・題簽完備の善本) 寛政一二 永寿堂 (西村與八) 陀々羅大尺色主作 画工不明 「けんぶつ」 自序一オ。
- 194 右と同じ、合綴・題簽欠。
- 195 源氏布引瀧 げんじぬのひきのたき 二編五巻五冊 (前編三巻後編二巻、後編の書名は『布引瀧・旭出幼源氏』あさひのでおさなげんじー加賀本による!) 題簽欠 寛政六 村田屋 勝川春英画 「布引」 加賀本が善本。
- 196 八百屋戀櫻操芝居 やおやこいざくらあやつりしばい 三巻三冊 (合綴・題簽欠) 安永六 村田屋 鳥居清経画 「あやつり」 他に所在なし。
- 197 騷色道助力 かたぎのすけだち 二巻二冊 (青本。改装合綴・題簽欠) 明和八 うちろうこかたや 鳥居清経画 「戀のすけだち」 岩崎本が善本。
- 198 菖蒲前戀濃弓張月 あやめのまへこいのゆみはりつき 三巻三冊 (改装補修本、題簽欠) 安永六 奥村源六 鳥居清経画 「弓張月」
- 199 弘徽殿 こうきでん 二巻二冊 (黒本。題簽上巻のみ存) 寛延元 版元不明 画工不明 「かうきでん」 角書「新版」
- 200 孔子縞千時藍染 こうしじまときにあいぞめ 三巻三冊 (改

装合綴補修本、題簽欠) 寛政元 大和田 山東京傳作「北尾  
政演画 「こうししま」「こうしじま」 自序一オ。

201 子産黄金七夜祝 こをうむかねしちやのいわひ 二卷二册  
(題簽下巻のみ存) 寛政一二 西宮 蘭奢亭香保留作 歌川豊  
国画 「七夜の祝ひ」 角書「新板」(加賀本による) 序文一オ  
(長閑亭春道) 後印本か。

202 後  
篇 舊土産吾妻錦繪 へん こきやうみやげあづまのにしきゑ  
三卷三册(改装本、題簽中巻のみ存) 享和三 西宮 ゆうきん  
(楓亭猶錦作 歌川豊広画 「あつまにしきへ」 本書は第十丁  
が第五丁の次にある乱丁本、『報讎四萬物語』の後編。東急本  
目録に寛政一二刊とあるは『男達東錦繪』(一九作・榎本版)  
を誤ったもの、従って「男達東錦繪」を本書の別称とするのは  
誤りである。

203 寄合町來舶國性爺倭談 よりあいまちのおほいちぎ  
落詩鄭聲曲 からうたのにあがりぶしこくせん  
やにつばなばなし 二編六卷六册(改装二册、題簽欠) 文化一  
二 永寿堂 東西庵南北作 五渡亭国貞・歌川貞繁画 岩原駒  
知道筆耕 「和藤内」 自序一オ。

204 古々路の鬼 こころのおに 二卷二册(題簽欠) 安永八 版  
元未詳 蓬萊山人龜遊(朋誠堂喜三) 作 画工未詳 「心の

鬼」。

205 御所櫻都飛毒 ごしよざくらみやこのとびむめ 三卷三册  
(黒色元表紙、題簽中・下巻存、中・下・上の順に合綴) 明和

五 鱗形屋 鳥居清経画 「ざくら」 黒本。岩崎本が善本。

206 五躰不具毒解藥 ごたいふぐどくけしぐすり 三卷三册(元  
表紙、題簽欠) 寛政一二 西宮新六 蘭奢亭香保留作 歌川

豊国画 「五たいふぐ」 自序一オ。

207 櫻屋小萬 五大力筆繼棹 さくらやこまんごだいきふで  
笹野三五郎 さよのさんごらう

八 通油町丸屋甚八 山東京山作 勝川春扇画 「五大力」 画  
賛一オ、三ウより本文。

208 五體和合談 ごたいわがうものがたり 三卷三册(改装合綴  
補修本、題簽欠) 寛政一一 鶴屋 山東京傳作 歌川豊国画  
「和合談」 自序一オ 岩崎本が善本。

209 人間悟術迷所獨案内 にんげん  
一代悟術迷所獨案内 いちだいいごだうめいしよひとりあんな  
い 三卷三册(合綴、題簽下巻のみ存) 享和三 仙鶴堂 山東

京傳作 「北尾重政」 画 「めいしよ」 自序一オ。

○ 壽御夢想妙藥 ことぶきごむさうのみようやく ↓腹中掃除  
五臟夢 (登録上の誤り)

210 懷胎壽春袋 かいたいことぶきはるぶくろ 三卷三冊(改装)  
用心 しょうじん ふうじん ことぶきはるぶくろ 三卷三冊(改装)

合綴本、題簽欠 安永六 鱗形屋 「朋誠堂喜三」作 鳥居  
清経画 「はるぶくろ」他に所在を聞かず。

211 諺下司話説 ことはざげすのはなし 三卷三冊(改装、題簽  
欠) 寛政八 葛屋 山東京傳作 「北尾重政」画 「げす」、「け  
す」(九丁以下)、自序一オ。

212 右と同じ、改装、題簽欠、十四・十五丁欠、筆写せるもの三  
丁を以て補なり。

213 咄小鍋立 おとしこなべだて 一冊(欠丁本、改装、題簽欠)  
安永年間 栄邑堂 北尾三二郎(政美)画 「はなし」 東急本も  
欠丁あり、両本を合せても完本とならず。慶大本は五丁分存。

214 小鍋丸手石入船 こなべまるていしのいりふね 二編六卷六  
冊(合綴、題簽欠、前編三卷欠、後編のみ) 文化五 仙鶴堂  
曲亭馬琴作 歌川豊国画 「ていしの入ふね」 自序一オ、加賀  
本が善本。

215 梅堀由兵衛 後日菅原鑑 むめほりのよしべいごにちすがはら  
姥 源兵衛 うばのげんべい 安永六 大傳馬町三  
かぐミ 三卷三冊(黒色表紙、題簽完備) 安永六 大傳馬町三  
丁目正本屋(山本) 九右衛門 柳川桂子作 鳥居清経画 「ここ  
ちすかハラ」角「新版」重印本か。但し加賀本は伊勢次版、

山本版の求版本か。

216 右と同じ。合綴、題簽欠、下巻欠。  
薩摩下芋兵衛五人切西瓜斬賣 さつまげいもびやうゑごにん  
砂糖團子兵衛五人切西瓜斬賣 さとうだんごびやうゑごにん

217 ぎりすいくわのたちうり 三卷三冊(合綴、題簽欠) 文化元  
萬十 山東京傳作 栄松斎長喜画 「五人切」自序一オ。

218 小幡小兵次 鱸頓兵衛幻草紙 こはたこへいじこのしろと  
前座之講釋 ぜんざのかうしやくこのしろと  
んびやうゑまぼろしさうし 六卷六冊(合巻仕立、題簽欠、刷  
りよし) 文化九 櫻鶴堂(鶴喜) 式亭三馬作 歌川国満画  
「幻さうし」 改題本に「敵討幻雙紙」あり。

219 中村秀鶴 なかむらしうくはくごひやうぶ  
面影歸咲御評判高雄文覺 おもかげのかへりさき  
んたかをのもんがく 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛  
政三 つるや 七珍万宝作 北尾政美画 「もんかく」、「もん  
がく」(五・九・十一丁のみ)

220 悟迷惑心之鬼武 ごめいわくこゝろのおにたけ 二卷二冊  
(題簽上巻のみ存) 文化二 大てんま榎本 感和亭鬼武作 歌  
川豊広画 「おにたけ」 叙文一オ(浸酒樓摘華しるす)

221 右と同じ。題簽欠。  
おめでたい 古呂利山榊味噌 ころりさんしよみそ 二卷二冊  
222 (改装合綴本、題簽欠) 天明元 西村屋興八 伊庭可笑作 鳥

居清長画 「さんしよみそ」

223 金剛力士武道礎 こんがうりきしぶどうのいしずえ 前編三

巻後編二巻計五冊 (元表紙、題簽完備、後編は下・上の順に綴じてある) 文化二 西宮 赤城山人(守信亭)作 歌川豊広画

「いしずへ」 自序一オ (青本略史になっている)

〔オ〕

224 蓮若葉 蓮若葉 後編 犀蝨緑之林 ころうへんさう 文化元 西村屋 十返舎一九作

歌川豊広画 「さいががけ」 ↓『敵蓮の若葉』

225 職流義仕上押繪 さいくはりうぎしあげのおしゑ 三巻三冊 (改装・合綴・補修、題簽欠) 享和三 西村與八 薄川八重成

作 栄松斎長喜画 「おしへ」 序文一オ (柳橋何某誌叙)

226 海陸西國往來 かいさいこくわうらい 三巻三冊 (題簽下巻のみ存、内題『海陸西國往來』) 文化一〇 鶴喜 十返舎一九作

歌川美丸画 「さいこく」 序文一オ。

227 かがみ山 打築益照降町 ざうりうち 文化一〇 山口屋 十遍舎一九作画 「そ

三巻三冊 (題簽欠) 寛政一〇 草里 打築益照降町 ざうりうち 文化一〇 山口屋 十遍舎一九作画 「そ

用う。序文一オ (小金霍成叙)

228 酒田金平齋 さかたのきんびらひとのすし 二巻二冊 (改装合綴補修本、題簽欠) 明和七 鱗形屋 画工名未詳 「人のす

し」 一オ 匡郭外上方に版元商標あり、刷りよし。青本。

229 さがみ入道都ぐんだん さがみにうだうみやこぐんだん 三巻三冊 (青本、元表紙完備、題簽欠) 刊年未詳 西村與八 画



工未詳 「刀イ」 一オ五ウ七ウ八オ十ウ十二オ十五ウに繪なし、本文のみ。他に所在を知らず。写真版参照⑥。(六丁オ)

230 作者胎内十月圖 さくしやたいないといつきのおづ 三卷三冊

(改装合綴本、題簽欠) 享和四 鶴喜 山東京傳作 (北尾重政)画 「胎内」自序一オ。

231 越後國守座頭宮由來 あちこのくに さとうのみやゆらい 三

卷三冊(合綴、題簽欠) 文化六 馬喰街二町目西村永寿堂 十返舎一九作 一柳斎豊広画 「座とうの宮」(上)「さとうのミ

や」(中・下)「いとくちのことは」一オ。

232 實盛一代記 さねもりいちだいき 五卷五冊(題簽卷一のみ

存、青本) 刊年未詳 つたや 画工未詳 「さねもり」角書 「五/冊/物」重印本か。

233 小夜中山霄暗碑 さよのなかやまよなきのいしぶみ 三卷三

冊(元表紙、題簽下巻のみ存) 享和四(文化元) 鶴屋 曲亭馬琴作 歌川豊広画 「中山」自序一オ、作者曰一ウ。

234 擗會入雲鳥 さらいこうくもにいととり 二卷二冊(元表紙、

題簽下巻のみ存) 寛政八 村田屋 十返舎一九作画 「とんび」口上一オ。

235 皿屋敷 さらやしき 三卷三冊(題簽欠) 刊年版元未詳 柳

川桂子作 鳥居清経画 「さらやしき」

236 猿貍鼈大喧嘩 さるたこすっぽんおおげんか 二卷二冊(題

簽欠、本文第三丁欠) 安永元 山本 富川房信画 「猿すっぱ

人大喧嘩」慶大本は丸屋小兵衛版、丸屋は山本氏、『小説年表』の山本は丸屋か。

237 三藏圖會雅講釋 さんざいづえをさなこうしやく 三卷三冊

(改装、題簽欠) 寛政九 鶴屋 山東京傳作 (北尾重政)画 「三才」自序一オ 岩崎本が善本。

238 源八渡三十石瀬初 けんはちわたしさんじつこくよふねのは

平太堤 へいたつゝみ 三卷三冊(合綴、題簽欠、後編もともに合冊) 寛政一

一 山口屋 十偏舎一九作画 「三十石」自序一オ 後編『露深淀引舟』参照。

〔し〕

239 風四角四面兵衛 ふうしやうしかくしめんびやうへ 三卷三冊

(題簽欠、下巻欠、上・中巻のみ) 安永五 奥村 富川吟雪画 「しめんひやうへ」加賀本は乱丁・欠丁本、東急本が完本。

240 昔爺婆雀蟹 むかしじじばばすずめはまぐり 二卷二冊(題

簽欠) 明和七 鱗形屋(第一丁匡郭上部の商標による) 鳥居清満画 「はまぐり」慶大本の他所在知らず。

241 右と同じ。合綴補修本、題簽欠。

242 質流思外幸 しのながれもつけのさいわひ 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 享和元 横山町二丁目岩戸屋 十偏舎

一九作画 「七の流」 改題本『質流人行末』あり、自序一オ。

酒の左字ハ七人上戸 さけのさのじはしちにんしやうご  
盃の左の字 さかつぎのさのじ

243 二卷二冊(改装合綴補修本、題簽欠、東急本にて補) 寛政五

泉市 桜川慈悲成作 歌川豊国画 「七人」 序文一オ(巻古庵月戯叙)

○ 四天王石熊退治 してんわういしくまたいじ ↓新田四天王

(題簽の誤りによる)

○ 四天王化物退治 してんわうばけものたいじ ↓木曾四天王

化物退治

244 敵篠川衛 かつき  
討 うちしのがはちどり 二編六卷六冊(合綴、題

簽殆ど剝落、前後編各三冊合冊) 文化二 泉市 南袖笑楚満

人作 歌川豊広画 「志の川」 大阪府本が善本。

245 篠塚角力疑 しのつかすもうあそひ 二卷二冊(改装合綴、

題簽欠、黒本) 刊年未詳 村田屋治郎兵衛 鳥居清満画 「て

んぐ」 本書は『天狗篠塚力競』の書名で登録。東急本が善本。

246 信夫賣對婦理袖 しのぶうりついのふりそで 六卷六冊(合

巻、題簽欠) 文化一一 永寿堂西村與八 山東京山作 柳川

重信画 石原知道筆耕 「志のふ」角書「お花/半七」

247 信夫摺錦伊達染 しのぶずりにしきのたでぞめ 三卷三冊

(題簽中巻のみ存、後編と合綴) 享和四(文化元) 村田屋 曼

亭鬼武作 歌川豊国画 「志のふ」角書「前編」、中巻の角書

は「敵討」 自序一オ(序文題の角書「鼓女/復讐」後編に『陸

奥誓女仇討』あり)。加賀本が善本。

248 四遍搦心學草帯 しへんすりしんがくさうし 三卷三冊(改

装合綴補修本、題簽欠) 寛政八 つたや 曲亭馬琴作 「北尾

重政」画 「四遍」、他に「四へん」(九丁)、「四編」(四・五・

十一・十二・十四・十五丁) 自序一オ。四編摺の意は京伝の

『心学早染草』『人間一生胸算用』『唯心鬼打豆』のあとを享けた

作の意。

249 島村蟹水門仇討 しまむらがにみなとのあたうち 二編六卷

六冊(前編上巻のみ題簽かすかに存、合綴) 文化四 仙鶴堂

曲亭馬琴作 歌川豊広画 「しまむらの前」「しまむらの後」

(各編) 自序前編一オ 東急本・岩崎本は半紙本。

250 鬪た新形 しゃれたしんがた 三卷三冊(補修、題簽欠) 文

化四 版元未詳 東里山人作 歌川美丸画 「志んがた」なお

『註文滑稽多新形 あつらしゃれたしんがた』は文政元年の再

通作

えぞめ

版本。

251 龜ヶ瀬十三塚由來 かめがせ じゅうさんづかのゆらい 三卷 敵討 かたきうち

三冊(黄表紙仕立ての短篇合巻、題簽存) 文化一二 錦森堂(森屋治兵衛) 東武鬼武作 軽雲亭国丸画「かめがせ」、「亀がせ」(第三冊) 国会本は文化四刊。

252 十三七ツ月の曙 じゅうさんななつづきのあけぼの 三卷三冊(題簽欠) 文化一〇 版元未詳 竹塚東子作 歌川国丸画「十三七」 自序一オ。

253 十二支鳳桃太郎 じゅうにしねすもむたろう 三卷三冊(改装綴補修本、題簽欠) 安永九 岩戸屋(浅草茅町) 文深堂 鼎巖作 北尾門人三二郎(政美) 画「十二支」

254 出世鯉四方瀧水 しゅっせごいよものたきすい 二卷二冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政一二 村田屋 十偏舎一九作 画「魚」 改題本に『趣向筋鱈』あり。

255 正直良功帯 せうじきそくこうし 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政一一 西村興八 十偏舎一九作画「そくこうし」、「そくかうし」(二・六・十三―十五丁) 自序一オ。

256 遊妓寢卯角文字 びよろうのまことたまごのかくもじ 三卷三冊(改装綴補修本、題簽欠) 寛政二 鶴屋 芝全交作

〔北尾重政〕画「大客」 自序一オ。『大客嘆句』の書名で登録されてあるもの。

252 長物語 白髭明神御渡申 ながものがたりしらひげみやうじん 後編 こうへん しろひげみやうじん おわたしまりす 三卷三冊(合綴補修本、題簽上巻のみ存) 寛政五 つる屋 芝全交作 画工未詳 「白ひげ」 自序一オ、

『形容化鼻下長物語』の後編。  
景啓動

259 右と同じ、三卷三冊の元表紙完備のもの、題簽欠。

258 白拍子富民諍數音 しらびやうしとんだしづかになりやした 三卷三冊(改装・合綴。紙質よく刷りよし) 刊年版元未詳 不笑之亭君南子作 北尾政演画「なまころひ」 下巻最終丁(五丁)裏に安永十(天明元)の跋文。『七轉八興小町』(天明元刊)の改題本(小説年表による)。

260 尻擲御要慎 しりまくりごようじん 三卷三冊(合綴、題簽欠) 寛政一〇 榎本吉兵衛 十返舎一九作画「志り」 自序一オ。狩野本が善本。

261 心學時計草 しんがくとけいぐさ 三卷三冊(改装、中・下巻が逆に合綴、題簽中巻のみ存) 寛政七 つたや 十遍舎一九作画「志んがく」 自序一オ。

262 大極上心學早染草 だいくくじやうしんがくはやせめぐさ 請合賣 うけあいうり

三卷三冊(題簽欠、合綴) 寛政二 大和田 山東京傳作 北尾政美画 「心学」、「心がく」(五・六丁) 自序一オ。

263 右と同じ。元表紙・題簽完備。本文刷り悪し。榎本版。本書は榎本吉兵衛の求版重印本か。

264 右と同じ。改装合綴本、序文下方やや破損。刷りは比較的よし。

265 信玄一代記 しんげんいちだいき 五卷五冊(青本、題簽完備、善本) 宝曆三 鶴屋喜右衛門 北尾重政画 「信玄一代き」

宝曆版の再板本。本書は寛政二年に丁字屋売出しの鶴屋版十冊本より以前の版。角書「新板」 宝曆版は黒本。

266 信玄権輿軍 しんげんはついくさ 二卷二冊(黒本、題簽完備の善本) 宝曆一三 つるや 富川房信画 「信けん初いくさ」(上)、「しん玄はつ軍」(下) 本文に後人の彩色。

267 身體開帳略縁起 しんだいかいてうりやくあんぎ 三卷三冊(合綴、題簽欠) 寛政九 萬屋 萬唐丸作 「北尾重政」画

「かい帳」(上)、「開帳」(中)、「かいてう」(十二丁)、「かいちやう」(十二丁十五丁) 「買帳」(序文題) 一オ。

268 神傳路考由 しんでんろこうゆ 二卷二冊(元表紙・題簽完備) 寛政四 つるや 気象天業作画 「ろかうゆ」 自序一オ

作者は北尾政美。

269 富士之白酒 新版替道中助六 ふしのしろさけしんはんかわり阿部川紙子 あべかわかみこ

ましただうちうすけろく 三卷三冊(題簽中・下巻存、刷りよし) 寛政五 つる屋 山東京傳作 鳥居清長画 「道中」 自序一オ。

270 新研十六武藏坊 しんげんかへりましたじふろくむさしぼう 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 享和四(文化元) 鶴喜 曲亭馬琴作 「北尾重政」画 「むさし」

271 右と同じ、題簽中巻のみ存。

272 新鑄小判耀 しんぶきこばんのみみたぶ 三卷三冊(改装合綴、題簽下巻のみ存) 寛政七 萬屋重三郎 十扇舎一九作画 「志んぶき」 序文一オ(唐来三和序)

273 右と同じ、合綴、題簽欠。狩野本が善本。

274 摹書筆回氣 すきうつしふでのまわりぎ 三卷三冊(元表紙、合綴、題簽欠) 寛政一〇 浅草茅町宝屋大吉 壁前亭九年坊

作 鳥高斎栄昌画 「ぶで」、「ぶて」(下巻) 自序一オ。加賀本が善本。

275 墨川柳禿筆 すみだがはやなぎのきれふで 二巻二冊(元表紙。題簽下巻のみ存) 寛政八 鶴屋 曲亭馬琴作〔北尾重政〕画「すみだ川」(上)、「すみだ川」(下) 角書「新板」

276 諏訪湖狐怪談 すハのうみきつねくハいだん 二編一〇巻一〇冊(合綴、補修本、題簽欠、後編五冊を欠く) 文化四(前編)、文化五(後編) 村田屋 十返舎一九作 勝川春亭画「すわのうみ」、「すわうみ」(四・五巻)、「すハ後」(後編)、「後すハ」(後編三巻のみ) 自序(前・後編各一オ)。

○ 隅田川戀角文字 すみだがわこひのつのもじ ↓ 吉田少將 梅若丸(登録上の誤り) ↓ 梅若丸 うめわかまる

277 衣食住 三箇圖世帯評判記 いしよくちうせたいひやうばんき 三巻 三冊(元表紙・題簽完備、善本) 享和二 ったや 曲亭馬琴作 歌川豊国画 「世帯」 自序一オ。

278 右と同じ、改装合綴補修本、題簽欠。

279 敵討 攝州合邦辻 かたきせつしうがっほうがつち 五巻五冊 (前編三巻後編二巻、題簽は前編の下巻を除き完備) 享和三

榎本 十返舎一九作 歌川豊国画 「かつほう」 序文一オ(芝

南楚誌) 東急本目錄に楚滴人作とあるは東急本の終り五丁が『安積沼』の下巻を合綴した為の誤認。

280 雪中濃兩敵 せつちうのりやうかたき 三巻三冊(黒本、改装合綴補修本、題簽欠) 宝曆一三 つるや 富川房信画「雪中の兩かたき」・「せつちうの兩敵」 東急本・狩野本がよし。

○ 蟬丸兒手柏 せみまるこのてがしは ↓ 義士 孝子 身替兒の手柏 (登録上の誤認による)



⑦

281 善悪戀墨染草 ぜんあくこいのすみぞめぐさ 二巻二冊 黒

本。元表紙・題簽下巻のみ存、上巻本文補修あり) 明和二 奥  
村屋源六 画工未詳 「ぜんあく」 岩崎本も題簽上巻欠。岩崎  
本・慶大本のみ。写真版参照⑦。

282 善悪角力勝負附 ぜんあくすまふのせうぶづけ 三巻三冊  
(合綴、題簽上巻のみ) 享和三 西村與八 十偏舎一九作 歌

川豊国画 「ぜん悪」 序文一オ (薄川八重成題) 第十丁オに  
「此一丁飛入/作者 白銀台一磨」とあり。角書「癸亥/新板」

283 善悪邪正大勘定 ぜんあくじやしやうおほかんぢやう 三巻  
三冊(改装合綴補修本、題簽下巻のみ二枚存) 寛政七 つたや

唐米三和作 「北尾重政」画 「大かんじやう」 自序一オ。

284 善悪兩良藥 ぜんあくふたつのりやうやく 二巻二冊(改装、  
題簽上巻のみ存) 寛政一一 岩戸屋 十返舎一九作画 「ひん

ふく」 画賛一オ(草紙亭貸安)

右と同じ、改装、題簽欠。補修本。

286 285 全交法師常々艸 ぜんこうほうしつねくぐさ 三巻三冊

(元表紙・題簽完備の善本) 寛政六 鶴屋 芝全交作 「北尾重  
政」画 「つねく草」 十五丁ウに「全交遺作目録」あり。

287 右に同じ、題簽上・中巻存、元表紙。

288 仙臺秋東伽羅男 せんたいはぎあづまのきやらおとこ 五巻

五冊(元表紙・題簽二一五存、一巻のみ欠) 寛政八 つたや  
〔鳥居清満〕画 「きやら」 角書「五冊物」 題簽よりみて寛政  
八年版。宝曆八年鱗形屋版「通東伽羅夫」の求板重印本。慶大  
本のみ。序文一オ。写真版参照⑧。



⑧

289 千里一列勇天邊 せんりひへはねいさみのてつへん 三巻三

冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政八 泉市 十偏舎一九作画  
「いざみ」 自序一オ。

〔七〕

290 増補獬豸合戦 ぞうほざるかにかっせん 二巻二冊(元表紙・題簽欠、剝落の跡顯著) 寛政一〇 つたや 傀儡子(曲

亭馬琴)作 「北尾重政」画 「さるかに」 自序一オ(曲亭門人 傀儡子題) 狩野本が善本。

291 相馬内裏後雛棚 そうまだいりのちのひなだな 二編六巻六冊(改装・合綴、後編三巻欠、題簽欠) 文化八 版元未詳 曲亭馬琴作 勝川春扇画 「相馬」



⑨

292 曾我一代記 そがいちだいき 五巻五冊(元表紙・題簽完備) 刊年未詳 榎本吉兵衛 画工未詳 「そが物がたり」(一一三

巻)、「まきかり」(四・五巻) 角書「新版」 村田屋版の五冊本とは異本。写真版参照⑨。

293 曾我物語嘘實録 そがものがたりうそのじつろく 三巻三冊(改装合綴本、題簽欠) 寛政一〇 つたや 唐米三和作 「北尾重政」画 「曾我」 自序一オ。

294 其身益金持親玉 そのみのえきかねもちのおやだま 二巻二冊(題簽欠) 文化三 絵見屋吉右エ門 十返舎一九作画 「金もち」 自序一オ。「黄金蔓掘出分限」として登録されてある。十ウに『敵討連歌怪談』の出版広告あり。

295 藍返行義轍 そめかへしぎようぎあられ 三巻三冊(題簽欠、諸本題簽欠のため角書に「孔子縞千時藍染後編」とあるのを確認し得ず、国会本末調査) 寛政二 版元未詳 山東京傳作 京傳門人亀毛画 「ぎやうぎ」

296 従夫以來記 それからいらいき 三巻三冊(元表紙・題簽完備の善本、但し慶大本は重印本、書名は『夫従以來記』 天明四 つたや 竹杖為軽作 喜多川歌麿画 「いらいき」 自序一オ (万象亭竹杖すかる述) 東急本は初版本。

297

京鹿子 從夫道成寺 ぎやうがのこ それからとうしやうじ  
扱其後 さいもそのうち

三卷三冊(補修表紙、題簽上卷のみ存) 享和元 西宮 福亭三

笑作 子興画 「道成寺」 序文一オ(式亭三馬) 十五丁ウに版

元の口上あり、加賀本が善本。

298

夫得奢玉得 それはとくおごりたまへ 三卷三冊(合綴補修

本、題簽欠) 天明八 貫齋作 蘭徳画 「おごり」 序文一オ

加賀本は岩戸屋版の別本。

〔た〕

299

大益天神記 たいゑきてんじんぎ 一〇卷一〇冊(青本、元

表紙・題簽三・四・五・六・八卷存) 宝曆一一 鱗形屋 画

工未詳 「新てんじん」(一一四卷)、「新天神記」(五一一〇卷)

角書「十冊物」 慶大本は第十九丁欠。寛政六年の鶴屋版あ

り。写真版参照⑩。

○ 大客喫句 たいかくしゆうく ↓遊妓寔卯角文字(登録上の  
誤り)

300

大鯨豊年貢 たいげいほうねんのみつぎ 二卷二冊(元表紙・

題簽完備の善本) 寛政一一 榎本 十返舎一九作画 「くじ

ら」一オに「品川鯨」なる戯文。

301

吉大黒舞 よしだいこくまひ 二卷二冊(改装合綴補修本、

題簽欠) 安永七 版元未詳 金花作 鳥居清経画 「大こく舞」

302

大師河原撫子話 だいしかはらなでしこばなし 二編六卷六

冊(合綴、元表紙存、題簽前編上卷のみ存) 文化三 耕書堂萬

屋 曲亭馬琴作 醉放逸人(北尾重政)画 「なでしこ」(前編)、

「なでしこ後へん」(後編) 天保一一年の再板本の柱は「大師」

自序一オ。角書「前編」・「後編」

303

右と同じ、但し後編のみ存、題簽後編下巻のみ存。



⑩

- 304 大千世界牆乃外 だいせんせいかきかねのそと 二卷二冊  
〔改装合綴補修本、題簽欠〕 天明四 つたや 唐米参和作 〔北尾重政〕画 「かき祢の外」、自序一オ、加賀本に題簽上巻のみ存。
- 305 大通其面影 だいつうそのをもかけ 二卷二冊〔題簽欠〕  
安永九 いせ治 常盤松作 鳥居清長画 「大つう」
- 306 夫へ楠木太平氣 それへくすのきたいへいき 三卷三冊〔全是へ〕板木太平氣 これへとちのきたいへいき  
丁紙背に白紙をあてる、題簽中下巻のみ存 天明四 つるや 鶴一斎雀千声作 勝川春道画 「太平氣」 序文一オ。慶大本は天明七年の重印本。
- 307 太平記忠臣講釋 たいへいきちうしんこうしやく 二編六卷六冊〔元表紙。題簽欠〕 享和二 鶴喜 傀儡子〔馬琴〕作 歌川豊国画 「こうしやく」〔前編〕、「講釋」〔後編〕 自序一オ〔曲亭門人 傀儡子〕
- 308 右と同じ。前編のみ、後編欠。題簽前編完備、全丁裏打なれど刷りよし。
- 309 太平記萬八講釋 たいへいきまんはちかうしやく 三卷三冊〔元表紙、題簽上巻のみ存〕 天明四 蔦屋 朋誠堂喜三二作 画工未詳 「まんはち」 自序一オ。
- 310 右と同じ。改装合綴補修本、題簽欠、序文は墨書の写しにて補う。
- 311 東海道五十三驛凸凹話 とうかいだうごじうさんつきたか人間一生五十年凸凹話 にんげんいつしやうごじうねんたかひくはなし 三卷三冊〔合綴、題簽欠〕 寛政一〇 つたや 山東京傳作 画工未詳 「凸凹話」 自序一オ。本文刷りよし。
- 312 萬福寶藏開 まんぶくたからのくらびらき 三卷三冊〔題簽上巻のみ存〕 享和四〔文化元〕 泉市 樹下石上作 歌川豊広画 「くらびらき」 自序一オ。
- 313 右と同じ、題簽欠、本文の刷りよし。
- 314 竹本義太夫武士 たけもとぎだゆうぶし 二卷二冊〔元表紙。題簽完備、善本〕 寛政一一 西村屋與八 十偏舎一九作画 「上るり」 序文一オ、角書「未春／新版」
- 315 擲討鼻上野 たゞきうちはなのうへの 三卷三冊〔改装合綴、題簽欠〕 天明二 いせ次〔伊勢屋次助〕 岸田杜芳作 勝川国信画 「扣討」 慶大本は十五丁ウの作者画工名をけずる、重印本か。
- 316 擲討變術卷 たゞきうちへんしゆつのまき 三卷三冊〔合綴、裏打本、題簽欠〕 寛政八 泉市 十偏舎一九作 画工未詳 「たゞきうち」 口上一オ。

317 右と同じ、題簽欠、東急本が善本。  
318 唯心鬼打豆 たんこころをうちまめ 三卷三冊(合綴、題簽欠) 寛政四 つるや 山東京傳作 鬼武画(五丁裏の屏風の絵に署名) 「ほうべん」(上巻)、「おにうち豆」(中巻)、「おにうちまめ」(下巻)、「おに打まめ」(下巻十五丁のみ) 自叙一オ。改作本に「榮花男二代目 七色合點豆」あり。

319 龍宮苦界玉手箱 たつのみやこくがいのたまてばこ 三卷三冊(改装合綴、題簽欠) 寛政九 つたや 曲亭馬琴作 画工未詳 「うらしま」 自序一オ 加賀本が善本。

320 三浦高尾 お房徳兵衛 伊達模様紅葉襦衣 だてもやうもみじのうちかけ 二編六卷六冊(合綴、題簽欠、合巻) 文化一二 版元未詳 橋本徳瓶作 勝川春扇画 「三ッあふぎ」、「おふな」(十一—廿五丁迄) 序文一オ。

321 醫論義理與禰禰 たとへのふしぎりとふんどし 三卷三冊(合綴、全丁裏打、題簽下巻の一部のみ存) 寛政一二 つたや 曲亭馬琴作 画工未詳 「醫論」 自序一オ、慶大本の表紙見返しに西村・鶴屋の各広告あり。よつて表紙は元表紙にあらす。狩野本が善本。

322 筆跡作種蒔三世相 ふでのこうさくたねまきさんぜさう 稿裁着種蒔三世相 したゑのうへつけたねまきさんぜさう

三卷三冊(題簽欠) 通油町鶴喜 曲亭馬琴作 画工未詳 「三ぜさう」 自序一オ 狩野本が善本。

323 旅恥辱書捨一通 たびのはちかきすてのいっつう 二卷二冊(元表紙、題簽完備の善本) 享和二 榎本 十遍舎一九作画 「一九」 自序一オ。

324 敵討玉櫛笥二人奴 かたきうちたまくしげふたりやつこ 三卷三冊(合綴、全丁裏打、題簽欠) 文化三 岩戸屋 十返舎一九作 歌川国長画 「玉くしげ」 自序一オ、東急本が善本。  
○ 太郎冠者 たらうかじや ↓取得貨徳用

〔ち〕

325 竹齋老賣山吹色 ちくさいらうたからのやまぶきいろ 三卷三冊(元表紙、題簽完備の善本) 寛政六 鶴屋 築地善交作

〔北尾重政〕画 「ちくさい」 口上一オ(籤内竹齋) 右と同じ、題簽上巻のみ存。

327 仁兒源氏三略巻 じんちごげんじさんりやくのまき 三卷三冊(元表紙、黒本、題簽欠) 刊年未詳 鶴屋 鳥居清経画

328 前地神五代記 ちじんごだいき 三卷三冊(元表紙、題簽完備の善本) 「十二だん」(二丁)、「十二たん」 狩野本が善本。

備の善本) 享和四(文化元) 横山二、岩戸屋 十返舎一九作  
 勝川春亭画 「地神五代」 自序一オ、阪大本・狩野本は『日本  
 地神五代記 五冊物』、東急本は『<sup>五</sup>冊天神七代記 八地神五代記』、  
 慶大本が初版本。  
物後編

329 千早振紙屑籠 ちはやふるかみくずかご 三卷三冊(元表紙。  
 題簽欠) 寛政九 西宮新六 十返舎一九作画 「和藤」 序文

一オ、角書「己新板」 中巻表紙見返しに「耕書堂藏板目錄」  
 あり、これは元表紙にあらず。

330 茶事加減役割番附 ちやじかげんやくわりばんづけ 三卷三  
 冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政二 いせ次 七珍万宝作

歌川豊国画 「茶事かげん」 自序一オ、自叙十五ウ。

331 茶漬ケ原御膳合戦 ちやつけがはらごぜんかつせん 三卷三  
 冊(合綴、天地裁断、題簽下巻のみ存) 文化二 岩戸屋 萩庵

荻声作 歌川豊広画 柱、無印 自序一オ。東急本は重印本、  
 画工歌川美丸、柱「茶つけ」二卷二冊本。

332 茶成珠茶番狂言 ちやなでほんちやばんきやうげん 二卷二  
 冊(元表紙。題簽欠) 寛政五 泉市 森羅亭万宝作 歌川豊国

画 「茶はん」 序文一オ(鹿杖山人真顔)

333 忠義汗絞染五郎 ちうぎのあせしほりそめごらう 三卷三冊

(合綴、題簽欠) 文化七 丸甚 山東京山作 勝川春扇画 「し  
 ぼり染五郎(十丁迄)」、「染五郎(十一丁以下)」『国書総目録』  
 には角書「小太刀早業/兩刀達人」とあり。自序一オ。  
 334 忠孝棧仕吏 ちうこうあそびしごと 三卷三冊(元表紙、題  
 簽完備、善本) 寛政二 つたや 市場通笑作 喜多川歌麿画



柱、無印。写真版参照⑩。

⑩

335 「忠臣」 ちゆうしん 五卷五冊(元表紙完備、『黄表紙外題索  
 引』には、柱が忠臣のものは、『忠臣藏 後 日天哉義心平成 てんな  
 るかなぎしんのへいぜい』三卷 享和三刊とする。本書は『君

臣鏡』の書名で登録されるもの。内容は忠臣蔵の絵双紙、題簽欠。刊年未詳 村田屋 鳥居清経画 「忠臣」他に所在を聞かず。

336 忠臣一代八卦 ちうしんいちだいはっけ 二編七卷七冊(初編四巻後編三巻 題簽欠 合綴) 文化八 錦耕堂山口 十返舎一九作 月磨画 「二代はっけ」一一五丁欠丁。

337 忠臣蔵即席料理 ちうしんぐらそくせきりやうり 三卷三冊(合綴、全丁裏打、題簽上巻のみ存) 寛政六 鶴屋 山東京傳作 画工未詳 「そくせき」自序一オ 加賀本裏表紙見返しに当年新板目録あり。

338 忠臣陶物藏 ちうしんせとものぐら 三卷三冊(元表紙、題簽上巻・中巻存、本文刷りよし) 享和二 山口屋 十返舎一九作 画 柱、無印。自序一オ、内題『忠臣瀬戸物藏』

339 忠臣房受帖 ちうしんたなうけじよう 三卷三冊(元表紙存、題簽欠、本書の題簽は未見) 寛政九 版元未詳 十遍齋一九作 画 「ちうしん」自序一オ、天保四版の『忠臣店請狀』(一九作、歌川貞秀画)あり。

340 あの子 長者の飯食 ちやうじやのまゝくわう 三卷三冊(合綴全丁裏打本、題簽中巻のみ存) 天明七 つたや 恋川好

町作 喜田川歌磨画 「ちやうじや」自序一オ。一オ左下部破損。

341 珍説飛敵討 ちんせつとんだかたきうち 三卷三冊(元表紙、題簽中・下巻存、上巻の表紙に中巻の題簽を貼付、内容、書形式すべて黄表紙仕立て) 文化五 つた十(鶯屋) 市二三作 醉放逸人(北尾重政)画 「仙人」自序一オ。

〔つ〕

342 通俗三吞志 つうぞくさんとし 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 享和三 岩戸屋 萩庵荻声作 栄松齋長喜画 「さんとし」発たん一オ。

343 昔通風伊勢物語 むかしをとつうふういせものがたり 三卷三冊(合綴、全丁裏打本、題簽上巻のみ存、彩色褪色してなし) 天明二 鱗形屋 伊庭可笑作 鳥居清長画 「いせもの語」角書「寅歳」

344 通氣智之鏡光記 つきぢのせんくわうき 三卷三冊(合綴、題簽下巻のみ存、上巻は複写のもの存) 享和二 通油町鶴喜 山東京傳作 京傳自画(『国書総目録』による) 「せんくわうき」「せんくわうき」「算盤銘」(さんはんのめい)一オ。裏

見返しに当年新板目錄あり。

345 下總國 妙見寺 月星千葉功 つきとほしちばのいさほし 三卷三冊

(合綴全丁裏打手摺れ本、題簽欠) 安永六 鱗形屋 鈴木吉路  
作 恋川春町画 「ちばのいさほし」 自序一オ、本書第十四・十五丁欠。題簽未見。

346 妻乃復寇千足牛 つまのあだせんびぎうし 三卷三冊 (元表

紙・題簽完備) 文化元 本村木町西宮 南杣笑楚満人作 歌川  
豊広画 「千ひきうし」 角書「新刻ノ稗史」

347 露深淀引船 つゆふかしよどのひきふね 二卷二冊 (合綴、  
前編『三十石夜舟初』と合、題簽欠) 十偏舎一九作画 「よふ  
ね四」(上卷)「よふね五」(下卷一丁)「三十石」(廿一―廿五  
丁)

〔て〕  
348 手遊 張子虎之巻 てあそび はりこのとらのまき 二卷二冊  
(元表紙・題簽完備の善本) 寛政三 榎本 桜川慈悲成作 歌  
川豊国画 「とら巻」 自序一オ。

349 仇手打新番麥 あたきてうちしんそは 二編六卷六冊 (合綴、  
敵手打新番麥 かたき 自序一オ、  
文化四 芝神明前三嶋町和泉屋市兵衛 南杣笑楚満  
題簽欠)

人作 歌川豊広画 「そばや」裏表紙見返しに「卯春新板目錄」  
あり。角書「新版」後編の題名は『新後編手打新番麥』

350 新板富士 筑波手玉の元祖 三卷三冊  
筑波手玉の元祖 つくばてだまのぐはんそ 三卷三冊

(黒本・元表紙、題簽完備) 宝曆一二 丸屋甚八 鳥居清満画  
「手玉のくわんそ」(上)「手たまの元祖」(中)「手玉の元祖」  
(下) 東急本は青本。

351 雨宮出儘略縁記 あめのみや 三卷  
風宮出儘略縁記 かぜのみや 三卷  
三冊 (元表紙・題簽完備の善本) 寛政一〇 岩戸屋 十遍舎一

九作画 「雨風」 自序一オ 角書「午新版」  
○ 天狗篠塚力競 てんぐしのづかちからくらべ ↓篠塚角力遊  
(登録上の誤り)

352 天剛垂楊柳 てんがうすいやうりう 三卷三冊 (元表紙、題  
簽下巻のみ存) 寛政四 つたや 山東京傳作 「北尾重政」画

「水滸 四(五)(六)」丁附、十六―三十。三十ウに「京傳  
譯』『梁山一步談』の後編。狩野本が善本。角書はなし。

〔と〕  
353 胴人形肢體機關 どうりにんぎやうからだのからくり 三卷三

冊 (元表紙・題簽完備の善本) 寛政一二 萬屋 曲亭馬琴作

画工未詳 「胴人形」 自序一オ 裏表紙見返しに当年売出し目録あり。

354 常盤國風土記 ときわのくにふどき 三卷三冊 (元表紙・題簽完備の善本) 寛政八 榎本 十偏舎一九作画 「舌切雀」 自序一オ。

355 うてや 鳴巴のおせん ともえのおせん 三卷三冊 (元表紙・題簽中巻のみ存) 文化七 西村與八 東西庵南北作 勝川春扇画 自序一オ 口絵一ウ・二オ。序の部分少し破損あり。東急本が善本。

取得貨徳用 とりえたりたからのとくよう 二卷二冊 (元表紙・題簽完備の善本) 寛政一〇 榎本 十返舎一九作画 「たらう」 角書「午新版」 「小序狂言詞」一オ。『黄表紙外題索引』は本書の柱によって『太郎冠者』(同年刊)とする。加賀本も『太郎冠者』の書名で本書を登録。但し『太郎冠者』の原題簽は未見。しばらく存疑とする。

357 飛秀胡蝶笄 とんででるてふてふのかんざし 三卷三冊 (元表紙、合綴、題簽欠) 文化八 版元未詳 竹塚東子作 北川美丸画 「てふ／＼のかんざし」 序文一オ (南柯堂蝟洞) 別称『頓秀胡蝶笄』

〔な〕

358 無物喰狐舞入 ないものくおふふきつねのむこいり 三卷三冊 (合綴、全丁裏打本、題簽欠) 天明五 奥村 市場通笑作 北尾政美画 「くわふくのたね」 角書「己／新版」 第一丁表破損あり。

359 壬生狂言直讀見台萩 みぶきやうげんなをしてよむやけん 唐本腰言 とうほんのねこと 寛政三 つる だいはぎ 三卷三冊 (元表紙・題簽完備の善本) 寛政三 つる や 芝全交作 式上亭柳郊画 「けんだいはぎ」 自序一オ。写真版参照⑬。



⑬



360 仲之町晝夢見巾 なかのてうひるゆめみぐさ 三卷三冊(元表紙・題簽完備、極上本) 天明三 伊勢屋次助 岸田杜芳作

北尾政美画 「仲の丁」 慶大本が善本。写真版参照⑩。

361 御なぞづくし おなぞづくし 一巻一冊(元表紙、題簽完備、善本) 刊年未詳(安永四以前か) 西村屋興八 画工未詳

「なぞ」 角書「新/板」 内題「新なぞづくし」。写真版(題簽と本文一才) ⑭⑮参照。

362 榮花男七色合點豆 ちいぐわをとこなゝいろがてんまめ 三代目 二代目 ⑭⑮参照。



365 一人娘 嬬訓歌字畫 ひとりのおすめにむこふたりなぶるもよみとうたじづくし 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 文化二 泉市

364 363 七笑顔當世姿 なゝゑがほとうせひすがた 三卷三冊(改裝題簽欠) 天明元 いせ治 北尾政演画 「七笑かほ」 上巻の題簽は諸本とも無。

卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 享和四(文化元) 萬十 山東京傳作 北郷醉放人(北尾重政) 画 「七いろ」 自序一才 『唯心鬼打豆』の改作本。

右と同じ、合綴、題簽欠、刷り悪し。

⑭



⑬

式亭三馬作 一柳斎豊広画 「うたじつくし」 自序一オ(三)年ぶりにて毫を採るはお馴染の 式亭三馬題)

366 右と同じ、改装合綴、全丁裏打本。題籤上巻のものを表紙に、中巻の題籤を表紙見返しに帖付。刷りよし。

367 子持のお半 身代長右衛門浪の葩桂夕潮 こもちのおはんなみのはなかつらのゆふしほ 二編五巻五冊(通常六巻とされているが五巻が正しい、改装、題籤欠、合綴) 文化九 泉市 曲亭馬琴作 勝川春扇画 「おはん」 自序一オ。

368

嘘から出た傾城の貞女名高江戸紫 うそからでたけいせい  
誠から出た町人の男氣名高江戸紫 まことからでたてういん  
ていぢよなもたかきゑどのむらさき 五巻五冊(元表紙。題  
のをとこぎ) 籤卷二・三・四存、巻五は題籤の内、絵題籤のみ存、本文の刷  
りよし) 天明二 岩戸屋 伊庭可笑作 画工末詳 「江戸むら  
さき」 題籤は二枚題籤。東急本は西村版の重印本。

〔三〕

369

仁王阪英雄二木 にわうざかあうんのふたき 二編六巻六冊  
(元表紙、前編・後編の二冊に合綴、題籤欠) 文化四 岩戸屋  
感和亭鬼武作 歌川豊広画 「にわうざか」(前編)、「にわう  
ざか」(後編) 各編それぞれ初丁表に目録。狩野本に前編、東  
急本に後編に各上巻の題籤存。

370

本家唐土 ほんけはもろこしにじふしこうや  
出店本朝 だてなはほんてうにじふしこうや  
すうりうけあひ 三巻三冊(改装合綴全丁裏打補修本、題籤欠)  
寛政一三 西宮 蘭奢亭香保留作 子與画 「廿四かう」 自  
序一オ 十五ウに版元口上。加賀本に題籤完備。

371

二重緞子三徳平 にじうとんすざんとくへい 三巻三冊(元  
表紙、題籤完備、上巻の題籤に破損あり) 寛政一二 泉市 桜  
川慈悲成作 歌川豊国画 「三とく平」 「芝染のせりふ」一オ

(慈悲成述) 阪大本も題簽完備。

372 二代大中黒 にたいおふなかくろ 二巻二冊(題簽欠) 寛政

五 榎本 南袖笑楚滿人作 勝川春英画 「大中黒」 本書は

『艶道無茶盛當話』の書名で登録さる。登録の際の入れ誤りか。

角書「丑春／新板」

373 賽山伏狹狐修怨 にたやまぶしきつねのしかへし 二巻二冊

(元表紙、題簽上巻のみ存) 寛政一〇 つたや 畹書堂唐丸作

〔北尾重政〕画 「にた山」 自序一オ。加賀本に題簽完備。

374 新田四天王 につたしてんわり 三巻三冊(黒本、題簽は

『四天王石熊退治』の下巻の題簽を表紙に貼付してある) 刊年

未詳 つるや 画工未詳 「四天王」 慶大本は『四天王石熊退

治』で登録。『新田四天王』は岩崎本が善本。

375 菅原神詠 尾上梅幸再評判 にどのひやうばん 二巻二冊(改装、題簽

欠、本文刷り極めてよし) 天明二 版元未詳 在原艶美作

北尾政演画 「菅原神詠」 自序一オ。

376 目出度 二度目清書 めでたくにどめのすががき 六巻六冊

(合綴、題簽欠) 文化一二 岩戸屋喜三郎(横山町二丁目栄林

堂) 東里山人作 歌川国丸画 「きよ書」 自序一オ、大阪府

本に題簽一枚存、「全六冊」とあり。本書は短篇合巻。

377 黄金長者二幅對染花春袋 わうごんてうじや

白銀長者二幅對染花春袋 しろがねてうじやにふくつゝいゑい

くははるふくろ 三巻三冊(改装合綴本、題簽欠) 寛政一二

泉市 樹下石上作 歌川豊国画 「わうこんてうしや」 自序一

オ 上巻の題簽未見。

378 悪魂人間一生胸算用 あくだま

後編人間一生胸算用 こうへんにんげんいっしやうむなざん

やう 三巻三冊(合綴、題簽欠、全丁裏打補修本) 寛政三通

油町萬屋 山東京傳作画 「むなざん用」、「胸ざんやう」(十丁

のみ) 角書「玄春／新編」 口上一オ。加賀本に題簽完備。

379 鶴頼政名歌芝 ぬへよりまさめいかのしば 二巻二冊(元表

紙・題簽上巻のみ存) 寛政四 村田屋 南袖笑楚滿人作 勝

川春朗画 柱、無印。角書「新版」 当年の村田屋の題簽は二

種あり、その一に当たる。加賀本目録に三巻本とあるは誤り。

〔ね〕

380 根無草曾我和物 ねなしぐさそがのあへもの 三巻三冊(元

表紙、題簽完備、本文全丁裏打あり) 寛政七 油町村田屋 栄

松斎長喜画(加賀本の一オ・十五ウに「笑丸」の署名あり、一

オは墨書、十五ウは朱印を伴なう。しばらく存疑とす。『小説年表』の当該項参照。「そか」、「そが」(十三丁のみ) 序文一オ。角書「卯歳／新版」 本文刷りよし。

381 夫ハ水虎 根無草筆仍 それがかっぱねなしぐさふでのわかば  
是ハ野狐 根無草筆仍 これはきつねねなしぐさふでのわかば  
へ 三巻三冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政六 通油町葛屋  
山東京傳作画「禰なし」 自序一オ、従来の複製本の底本より刷りよし。

〔の〕  
382 視見喙節穴 のぞいてみるたとゑのふしあな 二巻二冊(元表紙・題簽下巻のみ存、本文刷りよし) 寛政六 榎本、本膳亭

坪平作「勝川春朗」画「ふしあな」 自序一オ 角書「甲寅／新板」 加賀本に題簽完備。

383 敵法花合邦辻 かたき のりのはながつばうがつじ 三巻三冊  
うち (合綴、題簽欠) 文化八 版元未詳 十返舎一九作 勝川春扇  
画「合邦」「緒言」一オ(十返舎一九誌) 本書の題簽未見。

〔は〕  
384 馬鹿郵水犬傳 ばかむらすいけんてん 二巻二冊(改装合綴)

全丁裏打本、題簽欠) 天明四 西村屋興八 二本坊齋芸作  
北尾政美画「ばかむら」(前巻)、「すいけん」(後巻) 自序一オ 加賀本が善本。

385 化物忠臣藏 ばけものちうしんぐら 三巻三冊(元表紙・題簽完備の善本) 享和元 馬喰町三丁目山口屋 見越入道(箱根之先隠士) 作 十返舎一九校、自画「ばけもの上」(二丁のみ)、「はけもの」、「はけ物」(上巻四丁のみ) 叙文一オ。

386 怪物つれつれ雑談 ばけものつれ／＼ぞうたん 二巻二冊  
(改装全丁裏打本、題簽欠) 寛政七 西宮 白蓮庵黄龜作 鳥文齋栄之画「怪だん」 自序一オ。

387 化物の娘入 ばけものものよめいり 三巻三冊(元表紙、全丁裏打本、題簽欠、序文に破損あり) 文化四 山口屋 十返舎一九作 画工未詳「化もの」 自序一オ。本書には文化八年板あり、序文一ウに及び、一ウの絵が異なり、十五ウの絵及び広告が異なる。狩野本による。

388 怪談富士詣(全) ばけものふじもふで 一巻一冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政一二 西村屋興八 永寿堂(版元) 作 十返舎一九画「ばけ物」(一・二丁)、「ばけもの」(三・五丁) 画賛一オ(一九) 慶大本が善本。

- 389 化物見世聞 ばけものみせびらき 二巻二冊(元表紙・題  
完備の善本) 寛政一二 村田屋 十偏舎一九作画 「ばけも  
の」自序一オ。
- 化物世禮鉢木 ばけものよつぎのはちのき ↓世禮鉢木。  
390 化物夜更顔見世 ばけものよふけのかほみせ 二巻二冊(慶  
大本は欠本) 寛政三 西村 桜川慈悲成作 歌川豊国画 「か  
ほみせ」自序一オ。加賀本による。
- 391 葉櫻姫卯月物語 はさくらひめうづきものがたり 六巻六冊  
(台巻、題籤欠) 文化一一 版元不明 東里山人作 勝川春扇  
画 「葉さくら」自序一オ。
- 392 君子威徳富貴機 はすのいとほたんのあやつり 三巻三冊  
(改裝本、題籤中巻のみ存) 寛政二〇 宝屋大吉 壁前亭九年  
坊作 知道画 「あやつり」自序一オ。
- 393 右と同じ、元表紙存、題籤欠。  
394 敵蓮乃若葉 かたきはすのわかば 三巻三冊(元表紙、題籤  
うち) 享和四 西村 十返舎一九作 歌川豊広画 「は  
すのわかば」自序一オ。後編『犀崖緑之林』あり。慶大本が  
善本。
- 395 右と同じ、合綴本。題籤かすかに存(上巻のみ)。
- 396 鉢冠物語 はちかづきものがたり 三巻三冊(元表紙・題  
完備) 寛政六 西村 桜川慈悲成作 歌川豊国画 「はち」  
自序一オ 角書「新板」『小説年表』は『鉢冠姫物語』とす。  
397 八幡太郎一代記 はちまんたらういちだいき 五巻五冊(青  
本。元表紙・題籤完備) 刊年未詳 鶴屋 画工未詳 「八まん  
太郎一代き」角書「新板」  
398 初寶鬼島臺 はつだからおにがしまだい 二巻二冊(元表紙・  
題籤完備の善本) 享和三 西村永寿堂 十返舎一九作 北尾  
重政画 「桃の模様の絵画」自序一オ 角書「癸亥／新板」  
『黄表紙外題索引』は角書を「桃太郎／後日晰」とする。又作  
者を一子とするが、未詳。  
399 京傳勸請 八百萬兩金神花 きやうでんくはんじやうはつひや  
新神名帳 しんじんめいちやうはつひや  
くまんりやうこがねのかみばな 三巻三冊(元表紙、題籤下巻  
のみ存) 寛政三 つるや 山東京傳作 北尾政美画 「かみ  
花」『筈端』一オ。加賀本が善本。  
400 鳩讀試禮者笑宴 はとにさんしれいしやのさかもり 三巻三  
冊(元表紙・題籤完備の善本) 寛政一一 榎本 十偏舎一九作  
画 「ねんし」自序一オ。十五ウに板元の作たることを示すこ  
とばあり。

401 花盛雛猷立 はなざかりひなのこんだて 三巻三冊(元表紙・題簽完備の善本) 文化一三 森治 古今亭三鳥作 歌川美九画「金壳」自序一オ。本書は全くの黄表紙仕立て。角書はなし。

402 一粒斬種本 <sup>ひと</sup>つぶはなしのたねほん 三巻三冊(改装合綴全丁撰) 裏打本、題簽欠<sup>えり</sup> 享和二 馬喰町西與(西村) 桜川慈悲成作 歌川豊広画「一粒撰」自序一オ。本書は斬本。東急本の題簽よし。

403 花笑顔相指南枝 はなのゑがはさうしなんし 三巻三冊(元表紙・題簽完備、やや手摺れ本、刷りよし) 寛政七 泉市 森羅亭万象作 北尾政美画「そうしなんし」自序一オ 角書「新版」

404 東川添名所 はなのゑどかへぞいめいしよ 二巻二冊(元表紙・題簽完備の善本) 安永七 松村 鳥居清経画「こいすもふ」完本は慶大本のみ。写真版参照⑩。

405 鼻峯高慢男 はながみねかうまんおとこ 二巻二冊(合綴、裏打本・題簽欠) 安永六 鱗形屋 朋誠堂喜三三作 恋川春町画「はなのみね」加賀本はつたや版。

406 花聳大安賣 はなむこおほやすうり 二巻二冊(元表紙・題簽完備の善本) 文化三 山口屋忠助 十返舎一九作画「むこ」自序一オ。

407 天竺徳兵衛花珍奴茶屋 <sup>てんちく</sup>とくひやうゑ <sup>いしかわ</sup>ごゑもん <sup>はな</sup>なめつら <sup>しき</sup>やっこちやや 三巻三冊(合綴・題簽欠) 天明二 いせ治 から井さんせう作 勝川春常画「石川」加賀本が善本。

408 花紅葉二人鮫鱈 はなもみじふたりあんこう 三巻三冊(元表紙・題簽完備の善本) 文化二 岩戸屋 内新好(魚堂)作 喜多川月磨画「花もみち」自序一オ。

409 右に同じ、全丁裏打合綴本。題簽中巻のみ存。



⑩

410 花園子食家物語 はなよりだんごくひげものかたり 三卷三冊(元表紙・題簽上巻・下巻存) 寛政五 大伝馬二丁目大和田

曲亭馬琴作 山東京伝聞 画工未詳 「花より」(但し中巻の柱は無印) 序文一オ(於曼鬼武亭聞/山東京伝) 加賀本が善本。角書「丑/春」

411 早替平氣之景清 はやかかりへいきのかげきよ 三卷三冊(元表紙・題簽上巻のみ存) 文化二 岩戸屋(源八) 魚堂主人

内新好作〔歌川豊広〕画「へいき」 自序一オ、裏表紙見返しに出版広告あり。

412 早道節用守 はやみちせつよりまもり 三卷三冊(元表紙、表のみ存、題簽下巻のみ存、合綴本) 寛政元 つたや 山東

京傳作 画工未詳(自画か) 「早道」 「〇早道御守傳來」一オ。慶大本は寛政五版の重印本、題簽に「丑春新板」とあり。狩野本も同。

413 市川團藏 いちかわだんぞうはやわざしちにんま

的中狂言 早業七人前 あたりきやうげんはやわざしちにんまへ 三卷三冊(改装合綴裏打本、題簽は表紙見返しに中巻のみ存) 享和二 つたや 山東京傳作 「自画」 「早業」 序文一オ、加賀・岩崎本が善本。

414 嵐山春霞女回國 はるかすみおんなくわいこく 五卷五冊後編

(合綴、題簽二巻のみ存) 文化五 岩戸屋 十返舎一九作 歌

川豊広画 「春がすみ 前」(二巻) 「くはいこく」(二巻) 「女くはいこく」(三以下) 自序一オ、『嵐山花仇討』の後編。慶大本が善本。

415 春之駒象碁行路 はるのこましやうぎのきよみち 三卷三冊(改装合綴本、題簽欠) 享和元 萬屋 曲亭馬琴作 画工未詳

「象碁」 自序一オ(不落觀場序 きりおとしへおちざるじよ) 播州曾根松 ばんしうそねのまつ 三卷三冊(黒本、題簽下巻のみ存) 宝曆六 鱗形屋孫兵衛 鳥井清倍・清満画 「そね

の松」十五ウに新板目録あり。慶大本は岩戸屋の求板重印本。岩崎本が唯一の善本。画工は清倍・清満のいづれか未詳。

417 坂東七英士 ばんどうしちゑいし 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政二三(享和元) 榎本 十通舎一九作 画工未詳 「七英將」 自序一オ、後編に『人武士忠義功』あり。

418 右と同じ、改装、合綴、題簽欠。

〔ひ〕

419 彼岸櫻勝花談義 ひかんさくらはなよりたんき 三卷三冊

(元表紙・題簽完備の善本) 寛政一一 通油町鶴喜 曲亭馬琴

作 画工未詳 「彼岸さくら」 自序一オ。

420 備前播盆一代記 びぜんすりばちいちだいき 三卷三冊(改装本、題簽欠) 寛政一二 萬屋 曲亭馬琴作 画工未詳 「すりバち」 自序一オ。

421 「秀郷龍宮巡」 ひでさととりゆうぐうめぐり 二卷二冊(改装、題簽欠、青本) 刊年未詳 版元不明 鳥居清満画 「君臣鏡」 慶大本登録名に従った。柱は「前四 ○君臣鏡」とあり、これは岩崎本の「君臣鏡」(題簽欠、「平安城」と合綴)とあり、こ

『前太平記』の四・五卷か。『前太平記』の柱は「平安城」。人心鏡寫繪 ひとこころかぶみのうつしゑ 三卷三冊(元表紙、題簽欠) 寛政八 つたや 山東京傳作 画工未詳 「うつしゑ」 自序一オ。加賀本が善本。

422 人武忠儀功 ひとへぶしちうぎのいさをし 二卷二冊(元表紙、題簽完備の善本) 享和元 榎本 十返舎一九作 勝川春亭 画 「七英将」 丁附は十六―廿五。『坂東七英士』の後編。

423 報仇響數千里虎尾峠 かつたきうちひぶぎハすせんりとのを 奇説 二編六卷六冊(各編に合綴、全丁裏打、改装本、題簽各編上巻のみ存) 文化三 村田屋 感和亭鬼武作 勝川春亭

424 右と同じ、題簽欠。

画 「かたき打」、「カタキ」(十六・十七丁のみ) 発端の口上一オ。

426 百人一首戯講釋 ひやくにんいっしゆおとけかうしやく 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政六 泉市 芝全交作

山東京傳校合 歌川豊国画 「百人」 自序一オ(全文) 跋文十五ウ(京傳)

427 百福壽老人 ひやくふくじゆるうじん 三卷三冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政六 榎本 樹下石上作 北尾政美術 「百ふく」 自序一オ 角書「甲寅」新板

428 百化帖準擬本草 ひやくくわてうみたてほんざう 二卷二冊(元表紙、題簽下巻のみ存) 寛政一〇 鶴屋 山東京傳作 画 工未詳 「百化帖」 自序一オ、本書の統編に『笔津蟲音禽』(ふでつむしこゑのとりにく)あり。その丁附は「□六」―「□十」(上)「十一」―「十五」(下)とあり、『百化帖』に続くのでまぎらわしい。『百化帖』が三卷本と誤認される根拠がここにある。

加賀本参照。

429 冷裁汲立清水記 ひやくこいくみたてせいすいき 三卷三冊(慶大本は欠本か。未見) 寛政二 つるや 山東京傳作 画工未詳 「汲立」 自叙一オ、角書「新版」 諸本によって調査。

430 彼ハ時花曲封鎖心鑰匙 此ハ奉納額 かねハはやりうたびんとちやうま  
これハほうなうがく

へこゝろのあひかぎ 三卷三冊 (元表紙・題簽完備) 享和二  
本材木町西宮 式亭三馬作 歌川豊広画 「心のあひかぎ」「心  
のあひかき」(中巻のみ) 自序一オ。

431 賤富一代早替 ひんふくいちだいのはやがハリ 二卷二冊  
(合綴、裏表紙に下巻の題簽のみ存) 享和三 通油町村田 百  
亭貫斗作 喜多川喜久麿画 版元舎邑二校合 「ひんふく」 自  
序一オ。

432 貧福蜻蛉返 ひんぶくとんぼうがへり 二卷二冊 (元表紙・  
題簽完備の善本) 寛政一二 村田屋 十偏舎一九作画 「ひん  
ふく」 自序一オ。

○ 右と同じ書名 ↓善悪両良薬 (登録上の誤り)

433 福壽海无量品玉 ふくじゆかいむりやうのしなだま 三卷三  
冊 (元表紙・題簽完備の善本) 寛政六 萬屋 曲亭馬琴作  
〔勝川春朗〕画 「用心肝心」 自序一オ、後序十五ウ(唐来山人)  
慶大本が最善本。

434 右と同じ、題簽欠。合綴本。本文刷りよし。

435 福神江鳥臺 ふくじんゑのしまだい 三卷三冊 (元表紙・題  
簽完備の善本) 寛政一〇 岩戸屋 十返舎一九作画 「七ふ  
く」 狂歌一オ (千鶴連小金雀成)

436 福神金大帳 ふくじんこがねのだいてう 二卷二冊 (元表紙・  
題簽完備の善本) 寛政一二 岩戸屋 鈍々亭和樽作 子興画  
(十丁ウによる) 「福神」 自序一オ 角書「新板」

437 右と同じ、題簽欠。

438 腹中掃除五臟夢 ふくちうそうじござうのゆめ 二卷二冊  
(題簽欠、『寿御夢想妙薬』の書名で登録) 天明六 伊せ治

439 福徳入紋三津引 ふくとくにいるものみつひき 二卷二  
冊 (元表紙、合綴、題簽欠) 寛政三 西宮 樹下石上作 歌川  
豊麿画 「三つ引」 自序一オ 角書「亥/春」 岩崎本が善本。

440 福種笑門松 ふくのたねわらふかまとまつ 二卷二冊 (改装合  
綴補修本、題簽欠、一丁表・十丁裏を欠く。咄本。) 寛政二  
つたや 山東京傳作 喜多川歌麿画 「福」 『嗚呼奇々羅金鶏』  
(寛政元)の改題再摺本。加賀本と柱に相違あり。版型やや大ぶ  
りなり。

441 千町田 福來雀金出來秋 せんてうだふくらすよめこがねの  
萬町田 まんちやうだ

- できあき 三卷三冊(合綴、元表紙、題簽上卷のみ存、刷りよし) 享和三 泉市 樹下石上作 歌川豊田画 「ふくらすゝめ」 自序一オ。
- 442 俗漢寶乗合 ふくろのみなとたからののりあい 三卷三冊(改装合綴本、題簽欠) 寛政一〇 宝屋大吉 壁前亭九年坊作 鳥高斎栄昌画 「ほてい」 自序一オ。東急本が善本。
- 443 富士色板紋曾我 ふじのいろいろいたじめそが 三卷三冊(合綴、題簽下巻のみ存) 寛政九 泉市 南袖笑楚満人作 歌川豊田画 「いたしめそが」 序文一オ(志筍房) 角書「巳」
- 444 二思現在鶴 ふたおもひげんざいぬえ 三卷三冊(改装合綴、天地截断あり、題簽欠、青本) 安永二 つるや 画工名未詳 「對思現在ぬえ」(上)、「げんざいぬえ」(中)、「現在ぬえ」(下)、岩崎本が善本。角書「巳」
- 445 両面出世姿鑑 ふたおもてしゆつせのすがたみ 三卷三冊(合綴、元表紙、題簽欠) 文化元 横山二岩戸屋 虚呂利作 歌川豊田画 「さる」 序文一オ(内新好述) 後編に『娘敵討陸友綱』あり。慶大本は後編欠。
- 446 不厨庖即席料理 ふちやうほうそくせきりうり 三卷三冊(元表紙、題簽完備の善本) 享和三 萬屋 時太郎可候作画(爲
- 飾北斎) 「ぶてうほう」 萬重宛の口上一オ。
- 447 つばけもの二日替 ふつかかわり 二卷二冊(改装合綴本、題簽欠、刷り悪し) 寛政二 伊勢屋治助 桜川慈悲成作、歌川豊田画 「ばげ物」 自序一オ(桜川杜芳述) 慶大本は序と十丁裏の署名を削る。重印本。角書「代歳」
- 448 陰徳福貴自在金歳玉 いんとくふつきじざいこかねのとしたま 三卷三冊(元表紙、題簽上巻のみ存) 享和元 泉市 樹下石上作 歌川豊田画 「ふつきおさい」 自序一オ。
- 449 筆果絹川堤 ふでがさねきぬかわづゝみ 三卷三冊(改装合綴、題簽欠) 安永七 鶴屋 柳川桂子作 鳥居清経画 「ふでかさね」 本文刷り悪し。東急本が極上本。
- 450 復讐 大全筆の山物語 ふでのやまものがたり 二編六卷六冊(前編三巻を欠く。改装合綴本、題簽欠、後編のみ存) 文化四 岩戸屋 東里山人作 勝川春英画 「大全後へん」 国会本は未詳。
- 451 筆始日出松 ふではしめひひのでのまつ 三卷三冊(元表紙、題簽完備) 文化七 泉市 東西庵南北作 歌川金蔵画 「日出松」(一・二丁) 以下「日ノでまつ」「日のでまつ」「日出まつ」「日ノ出松」「日ノでまつ」「日ノで松」「日のでノ松」の順に柱

刻あり。序文一オ、口絵一ウ二オ二ウ三オ。短篇合巻仕立。

452 武勇東錦繪 ぶゆうあづまにしきゑ 三卷三冊(元表紙・題

籤完備の善本) 寛政一〇 榎本吉兵衛 十返舎一九作 画工

未詳 「高館」 序文一オ(華家黒面誌) 上巻題籤に「一九作」

とあり、従来この題籤不明のため作者名を誤まる。なお文化七

版『増補高館日記』五巻(華家黒面作・歌川国丸画)あり。写

真版参照⑩。



453 古道具穴掃除 ふるだうぐあなさうじ 三卷三冊(改装合綴

裏打本、題籤欠第十五丁に欠損あり) 天明七 虚空山人作

龍向齋画 「とうりく」 角書「新版」。

454 分解道胸中雙六 ふんかいだうけうちうすごろく 三卷三冊

(元表紙・題籤完備の善本) 享和三 萬重 山東京傳作 画工

未詳 「すご六」 自序一オ。

455 右と同じ、合綴本、題籤上巻・中巻存。

456 増分福茶賀問 ぼ ぞう ぶんぶくちやがま 二巻二冊(元表紙・

題籤完備の善本) 寛政一一 村田屋 十偏舎一九作画 「ぶん

ぶく」 序文一オ(鈍々亭和梅誌) 加賀本も題籤揃い。

457 右と同じ。題籤欠、本文全丁裏打本。

〔へ〕

458 平治太平記 へいちたいへいき 三卷三冊(題籤上・中巻存、

元表紙) 寛政元 西村興八 市場通笑作 画工未詳 「長田」

跋文十五ウ 角書「新版」

459 花浴之水 ざうのしみづ さいやうのみづ おほさかのふるへそわかすさゆものが

浪速風爐 臍沸西遊記 おほさかのふるへそわかすさゆものが

たり 三卷三冊(元表紙、題籤中・下巻存) 享和三 つたや

曲亭馬琴作 歌川秀麿(歌麿門人)画 「さゆ」(上巻のみ)、中

460 風辨慶延生記 りゆう ふう べんけいししゆつせうき 二巻二冊(青

流 下巻は無印。目録一丁。

本。元表紙・題簽完備の善本) 刊年未詳 画工未詳 「たん生」

慶大本は文化初年の重印本。版元は新和泉町の文亀堂伊賀屋  
勘右衛門、『辨慶の誕生』(青本、刊年・画工不明)の求板・重  
印本か。角書に「新板」とあり。商標は丸印に「ゑ」とあり。

〔ほ〕

461 北條五代記 ほうでうごだいぎ 三巻三冊(元表紙・題簽完  
備の善本) 寛政三 村田屋 画工未詳 「キ(榮)」角書「亥」  
の左右に「しん／はん」 明和四版の重印本。

○ 星宮大内鏡 ほしのみやおほうちかぶみ ↓妙見官利益助劔  
462 諏訪濃性兜 すうはつせうかぶと 二巻二冊(黒本、元表  
擁護濃性兜 ようすうはつせうかぶと 二巻二冊(黒本、元表  
紙、合綴、題簽は欠) 明和四 つるや 富川房信画 「天もく  
さん」(上巻)、「てんもく山」(下巻) 角書「新／造」 東急本  
に題簽上巻のみ存。

463 鐘巻 かねまき 巻助太刀 いちあもんはまれのすけだち 二編五巻  
市右衛門 いかねまき 文化七 西宮與八 三馬門  
五冊(題簽欠、前後編、各編合綴) 文化七 西宮與八 三馬門  
人益亭三友作 豊国門人歌川国丸画 「かねまき」 口上(表紙  
見返し及び一オ)、序(後編一オ、呉竹深根述) 別称『契情佐  
香保／貞節物語』 本書は他に所在を聞かず。

464 穿幹吹出笑 ほりぬきいどぶきだしわらひ 三巻三冊(元表  
紙、合綴、題簽中巻のみ存) 寛政二 岩戸屋 蘭奢亭香保

留作 画工未詳 「ほりぬき」 自序一オ。本文刷りよし。

465 大森輕業 本能見世物 をもりのかるわざほんのいゝみせ  
楠鬼女子 木のきのおにむすめ  
もの 三巻三冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政二 つるや  
芝全交作 式上亭柳郊画 「大もり」 自序一オ。角書「新／  
版」

466 右と同じ、全丁裏打本。題簽上巻のみ存。

〔ま〕

467 將門一代記 まさかといちたいき 五巻五冊(元表紙、題簽  
卷二のみ存、題簽に彩色なし) 刊年未詳 岩戸屋 蘭徳齋画  
「將門」(四・五巻のみ)、一―三巻は黒色三角印。序文一オ(無  
署名) 角書「新／板」 本書は青本か。『將門冠初雪』(寛政三  
刊)は画工・巻数・柱とも本書と同一。

468 のしの書初 先開梅赤本 のしのかきぞめまづひらくむめの  
若井の水引 わかめのみつひき  
あかぼん 三巻三冊(合綴全丁裏打本、題簽欠) 寛政五 つた  
や 山東京傳作 画工未詳 「赤本」 自序一オ。狩野本が善  
本。

469

又書やした曾我のひながた またかきやしたそがのひながた  
二巻二冊(元表紙、題簽欠) 天明三 版元未詳 忍岡常丸  
作 嫌好画「ひながた」序文一丁、本文一〇丁分。本書の他  
所在を聞かず。

470

間違狐之女郎買 まちがひきつねのちようらうかい 三卷三  
冊(全丁裏打本、題簽欠) 天明三 奥村源六 市場通笑作  
鳥居清長画「女郎買」角書「新/板」

471

信濃賓客 浅草主人俟待開帳話 しののゝきやくじん まちにまったり  
あさくさのごていしゆ  
かいちやうばなし 三卷三冊(元表紙、題簽中・下巻存) 享和  
三 翠橋通油街仙鶴堂 曲亭馬琴作〔歌川豊国〕画「かいて  
う」自序一オ。

472

右と同じ、改装合綴、全丁裏打本、題簽欠。

473

松株木武階奇談 まつのかぶきさんがいきだん 三卷三冊  
(改装合綴、題簽欠) 享和四(文化元) 耕書堂(通油町萬十)  
曲亭馬琴作 北郷醉放人画「三がい」題詩一オ(馬琴)

474

刀屋半七 浮名仇討 窠月新刀明鑑 かたなやはんしち まつにつきしんた  
うめいかん 二編六卷六冊(合巻、合綴、題簽欠) 文化七 芝  
泉市 曲亭馬琴作 勝川春亭画「松の月」表紙見返しに内題  
一オに列伝、三オまで口絵の合巻仕立。

475

問合俗物警問答 まにあひぞくぶつたとへもんだふ 三卷三  
冊(元表紙・題簽完備の善本) 寛政一二 通油町鶴喜 一片舎  
南龍作 子興画「問合」序辞一オ(南龍題)

476

十露盤於百 繼子立身替音頭 そろばんのおひやくままたて  
掛算之一八 繼子立身替音頭 かけざんのいっばち  
みがはりおんどう 二編六卷六冊(合綴、元表紙なれど題簽欠)  
文化七 和泉屋市兵衛 山東京山作 勝川春扇画「まゝこ  
だて」(上・下)、「まゝこたて」(中)、「まゝこだて」(後編三巻  
とも) 自序一オ。後編最終丁の下部破損あり。

〔み〕

477

人間式生 善惡邪正 磨淨頗瀛心照子 ぜんげんいっしやうみがくじやう  
ざんあくじやしやう  
はりこゝろのかどみ 三卷三冊(元表紙、題簽中巻のみ存) 寛  
政一〇 西宮 式亭三馬作 画工未詳〔北尾重政〕「かどみ」

478

(一丁)「かど見」(二丁)「かゝ見」(三丁)「目かね」(四丁)  
「めかね」(五丁)「めか彌」(六丁)「めかね」(七・十二丁)「か  
ゝ美」(十三丁)「めか彌」(十四丁)「目かね」(十五丁) 自叙  
一オ。加賀本が善本。

479

右と同じ、合綴、全丁裏打本、題簽欠。  
孝子身替見手柏 ぎしみがはりこのてがしは 三卷三冊  
かうしみがはりこのてがしは 三卷三冊

(黄表紙、題簽欠) 明和七 鱗形屋 丈阿作 画工未詳 「兒の手柏」 本書はもとともと黒本。慶大本は改装か。『蟬丸兒手柏』の書名で登録されてある。『蟬丸兒手柏』は明和元版、木庵作、柱「せみまる」「せみ丸」である。

480 箕岡尺參人酌酌 みけんじやくさんになまゑひ 三卷三冊 (合綴、全丁裏打本、題簽上巻のみ存) 寛政六 鶴屋 山東京

傳作 「北尾重政」画 「ミけん尺」 自序一オ。

481 右と同じ、下巻を欠く。中巻終丁の半丁欠、題簽欠。

482 身延山誓仇討 みのぶさんちかひのあだうち 三卷三冊 (合綴、元表紙、題簽は欠) 文化八 版元不明 柴舟菴一雙作

喜多川月曆画 「ミのぶ山」 序文一オ(十返舎一九誌) 加賀本も題簽欠。

483 仇都印籠 かたき うちみやこゐんらう 二編六卷六冊(元表紙、前編題簽中巻のみ存、後編題簽上巻のみ存) 文化二 泉市

南袖笑楚満人作 歌川豊広画 「都いんらう」 前編一・二丁に裏打。角書「丑／春」

484 妹は縁 あいもとはみどり 姉は紅都春仇襦衣 あねはくれなるみやこのはるあだをうち

かけ 二編六卷六冊(題簽欠、後編第三巻を欠く) 文化六 岩戸屋 山東京山作 歌川豊広画 「うちかけ」 合巻。

485 深山草化物新話 みやまくさげけものしんわ 二卷二冊(元表紙、題簽完備の善本) 享和三 通油町村田 夢中庵作三作

勝川春英画 「化もの」(下巻)・上巻は無印。『歌化物一寺再興』(寛政五版)の改題本。

486 卯庄司 妙黄粉殿道明寺 たまごしやうじ みやうきなごころめ 蒸物語 妙黄粉殿道明寺 むしものがたり

どうみやうじ 三卷三冊(元表紙、題簽上巻のみ存) 文化二 通油町萬十 曲亭馬琴作 栄松斎長喜画 「めうきなご」 自序一オ。

487 防刃 水上妙見宮利益助劔 ひかしうめうけんぐうりやくのすけだ

ち 二編五卷五冊(うち後編は『星宮大内鏡』二巻。ともに合綴、題簽欠) 文化二 村田屋 十返舎一九作 一陽斎(歌川)

豊国画 「妙見」 序文一オ。本書には合本一冊の重印本あり、序文の次に妙見宮来由が一丁分付いている。

488 右と同じ、元表紙に題簽中の書名の部分のみを切り取ったものを貼付す。東急本が善本。

489 壬生里 名代振袖 ミぶり 聲 色 こはいろめうだいふりそて 二卷二冊(元表紙、題簽欠) 寛政三 西宮 内新好作 画工未詳 「志ん

中」(上巻)、「心中」(下巻) 自序一オ。東急・加賀本がよし。榮花程五十年見徳一炊夢 あいぐハのほどハごしうねんみる 蕎麥價五十錢 そバのあたへハごじっせん

がとくいっすいの夢 三卷三冊(改装、全丁裏打本、題簽欠)

天明元 萬屋(東急本に短冊形の書名題簽あり、それによる)  
朋誠堂喜三二作〔北尾重政〕画 一炊夢

〔七〕

491 昔語紫色擧 むかしがたりゆかりのいろあげ 六卷六冊(合

巻。題簽一卷のみ存、但し破損多し) 文化六 西村屋興八 山  
東京山作 歌川豊国画 一ゆかり二・二・四巻)、「むらさき」  
(上記以外の巻) 廿九ウ三十オの見開き部分欠丁。戯題一オ(蛙



18

世閑人。写真版参照18。

492 昔語由良港 むかしがたりゆらのみなと 二卷二冊(合綴、

裏打本、題簽欠) 享和二 村田屋 十偏斎一九作画 柱、無  
印。自序一オ。『増益三莊大夫』の後編。

493 昔語姑獲鳥仇討 むかしばなしうぶめのかたきうち 三卷三

冊(改装・全丁裏打合綴本、題簽中巻のみ存、「中」を「全」  
と墨にて改めてある) 文化三 馬喰町西村屋 南柚笑楚満人  
作 一柳斎豊広画 一むかしかたり」本文にイタヅラ彩色あ  
り。



19



505

無茶盡押兵 むちやづくしおしのつハもの 三卷三冊（元表紙、題簽上卷の一部のみ存） 寛政一一 仙鶴堂 曲亭馬琴作

506

〔北尾重政〕画 「无茶盡」 自序一オ。内題『无茶盡押兵』  
武茶盡混雜講釋 むちやづくしむちやくちやくこうしゃく 三卷三冊（元表紙、題簽上卷存、中巻は半分破損のもの存） 享和



二 本材木町西宮 楽亭馬笑作 三馬校閱 勝川春喬画 〔武茶〕（上・下巻）、〔無茶〕（中巻） 序文一オ（式亭三馬） 慶大本が善本。写真版参照⑳。

507

玉屋新兵衛 室竝花魁 むろそだちはなのさきがけ 二編六卷 餘光之事跡

六冊（前編三巻のみ存、合綴本、題簽欠） 文化一〇 泉市 東里山人作 勝川春扇画 「玉や」 自序一オ。

〔め〕

508

一張名將智勇鋒 いっちやうのほこさき 弓勢 ゆんぜいめいしやうちゆうのほこさき 二卷二冊（青本。元表紙、題簽一卷存、全丁裏打本） 刊年未詳 西宮 鳥居清満画 「智勇鋒」 題簽上部に「前太平記」とあり、柱に「前十一ノ一」のごとくあり、『前太平記』シリーズ



㉑

の一。角書「新版」。写真版参照②。

509 右と同じ。元表紙存、題簽欠、本文刷りよし。

510 京鹿子産梅枝傳賦、きやうかのこ  
無間鐘名むけんのかねめい、ふつむめかゑでんぶ

三卷三冊(元表紙、題簽下巻のみ存、上・中巻合綴) 天明八

西宮 山東京傳作 北尾政演画「梅かへ」改題本に『無間鐘

梅枝傳譜』(寛政二一版)あり。

511 再會親子錢獨樂 めぐりあふおやこのぜにこま 三卷三冊

(元表紙存、題簽欠) 寛政五 つたや 唐来参和作 北尾政美

画「ぜにこま」・自序一オ。東急本に中巻、加賀本に下巻の各

題簽存。

512 白井權八鱈比翼塚 しらいごんばち めぐるのひよくつか  
幡隨長兵衛 ばんずいてうへい

二卷二冊(合綴全丁裏打本、題簽欠) 安永八 西村 勝川春

朗画「ひよくつか」加賀本が善本。

513 三國面光不背釜 さんごくめんくわうふはいのかま 三卷三

冊(合綴、全丁裏打補修本、題簽上巻のみ存) 寛政元 西宮

けいこふ(山東鶏告)作 北尾政美画「めんかう」自序一オ、

角書「新/版」。加賀本が題簽揃い。

〔も〕

514 御利生告子之艶男 ごりしやうもふしごのいろおとこ 三卷

三冊(元表紙存、題簽欠) 享和二 和泉屋市兵衛 南袖笑楚満

人作 歌川豊広画「いろおとこ」本文刷りよし。

515 餅腹中能同志 もちとおなかのよいどし 二卷二冊(黒色表

紙、『臭氣靡放倉榮』の題簽を貼付) 安永九 浅草茅町岩戸屋

女孃堂作「鳥居清長」画「もちさけ」加賀本が善本。慶大

本は『臭氣靡放倉榮』の書名で登録。

516 持來餅著餅屋 もってこいもちハもちや 二卷二冊(改装・

合綴本、題簽欠) 寛政二 伊勢屋次助 桜川慈悲成作 歌川

豊国画「もってこい」序文一オ(芝全交) 角書「戌/歳」

慶大本は重印本。

517 本樹眞猿浮氣嘶 もとぎにまさるうはきはなし 三卷三冊

(改装・合綴・全丁裏打本、題簽欠) 寛政二 つたや 萬唐丸

作 喜多川歌麿画「浮氣」自序一オ。加賀本が善本。

518 桃太郎一代記 もつたらういちだいき 五卷五冊(元表紙・

題簽五巻のみ存) 天明元 村田屋 北尾政美画「もつ太郎・

榮」角書「新/板」

〔や〕

519 復矢指浦 かたき やさしがうら 二編二卷二冊 (各編六  
編) 鎌矢指浦 うち

卷、各編別に合綴、題簽前編下巻のみ存) 文化三(前編) 文

化四(後編) 村田屋 十返舎一九作 歌川豊国画 「矢サシ」

(一・二巻)、「ヤサシ」(三巻以下)、「やさし後」(後編) 序文

前編一オ(書肆榮邑堂識)

520 怪家内奇狐狸 くわい やなぎこり 二巻二冊 (元表紙、天地  
談) だん

截断、題簽下巻のみ存) 寛政八 岩戸屋 春道草樹作 歌川

豊国画 「やなぎこり」 序文一オ(万花齋太平美代住叙)

521 野夫鶯歌曲詠言 やぶうぐひすうたのかたこと 三巻三冊  
(元表紙存、題簽下巻のみ存) 享和二 つるや 曲亭馬琴作

子輿画 「曲詠」 自序一オ。

522 野暮大臣南郭遊 やはだいじんなんくわくあそび 二巻二冊  
(題簽欠、「かるわざ」の書名で登録) 天明四 伊勢屋幸七

文深堂鼎峨作 鳥居清長画 「かるハズ」 角書「新/板」加

賀本が善本。

523 倭文字養老瀧 やまともしょうらうのたき 三巻三冊 (改装  
合綴、題簽欠) 安永五 版元不明 富川吟雪画 「ようらうの

瀧」 東急本も題簽欠。本書の題簽は未見。

524 薯蕷鱧鱈薬 やまのいもうなぎぐすり 二巻二冊 (元表紙、  
題簽上巻のみ存) 寛政九 村田屋 十返舎一九作画 「うな

起」、「うなぎ」(二・四・六丁) 自叙一オ。角書「己春」

525 家内山神御祭禮 か ない 二巻二冊  
安全山神御祭禮 あ ん ぜん やまのかみこさいれい

(元表紙・題簽完備の善本) 享和元 村田屋 十偏舎一九作画

「山のかみ」 自序一オ。

526 「山本勘助軍配圖」 やまもとかんすけぐんぱいうちわ 三巻  
三冊(黒本。元表紙、題簽欠、本文刷りよし) 刊年・版元・画

工未詳 「山本かん介」(上)、「山もとかん介」(中)、「山本かん

すけ」(下) 岩崎文庫の『山本勘助蛙琴責』とは別本。

〔ゆ〕

527 「遊託三夜の夢」 ゆうたくさんやのゆめ 二巻二冊(元表紙、  
題簽欠) 刊年未詳 松村彌兵衛 鳥居清長画 「ゆふたく」

原題名未詳。

528 右と同じ、題簽欠、一丁下方破損あり。

529 夢咄曾我物語 ゆめはなしそがものがたり 二巻二冊 (元表  
紙、題簽下巻のみ存、善本) 安永五 村田屋 画工・作者名

未詳 「そか」 十丁裏右下部分欠。

530

百合若大臣嶋眼 ゆりわかだいじんたうのねむり 二巻二冊  
(元表紙、題簽欠) 寛政一〇 泉市 南柚笑楚満人作 歌川豊  
国画 「ゆりわか」 東急本が善本。

〔よ〕

531

義貞勲功記 よしさだくんかうき 五巻五冊(黄表紙・題簽  
完備) 刊年未詳 油町鶴屋 鳥居清満画 「くろまる」 角書



532

「新/版」 『黒丸合戦』の改題本、序文一才。写真版参照②。  
義經一代記 よしつねいちだいき 五巻五冊(元表紙・題簽

完備) 刊年未詳 榎本 画工未詳 「義經一代記」(一・五巻)  
「よしつね」(二巻)「よしつ年」(三・四巻)。角書「新/版」

533

義經一代記 よしつねいちだいき 一〇巻一〇冊(青本。元  
表紙・題簽完備) 刊年未詳 鶴屋 画工不明 「よしつね一代」  
(一・二)「よしつね一代記」。角書「十冊物」。

534

義經一代記 よしつねいちだいき 一〇巻一〇冊(青本。元  
表紙・題簽存、第一巻の題簽のみ欠) 刊年不明 鱗形屋 画工  
名不明 「よしつね一代記」 角書「新板」 第十巻最終丁欠。



岩崎本が善本。但しその第四十九丁欠。加賀本は西村與八版の重印本。

535 義仲粟津合戦 よしなかあへづかつせん 五巻五冊(元表紙、題籤第一巻のみ存) 刊年未詳 岩戸屋 十返舎一九作画(廿五丁ウに「十返舎校」とあり) 柱、無印。自序一オ。角書「五冊/物」 本書は他に所在を聞かず。写真版参照②。

536 義仲一代記 よしなかいちだいき 五巻五冊(青本。元表紙・題籤二・三・四・五巻存) 明和七 鶴屋〔南拙笑楚満人〕作〔国書総目録〕による) 鳥居清経画 「木曾」 岩崎本は鶴屋版ながら題籤が異なる。重印本と思われる。

537 右と同じ。元表紙だが題籤欠。その剝落跡は岩崎本の題籤と一致する。重印本。なお題籤にも本文最終丁にも、画工の署名あれども作者名はない。

538 化世種鉢木 ばけものよつぎのはちのき 三巻三冊(元表紙、題籤上下巻存) 天明元 浅草茅町岩戸屋 伊庭可笑作 鳥居清長画 「化物よつき」 改題本に『化物一代記』(天明六版)あり。

539 凡惱即席 四人詰南片傀儡 ほんのうそくせきよにんづめなん 菩提料理 ぼだいりやうり 三巻三冊(元表紙、題籤中・下巻存、本文刷りへんあやつり)

悪し) 寛政五 通油町つた屋 山東京傳作〔北尾重政〕画「あやつり」 題言一オ(京傳) 東急本が善本。

540 世諺口紺屋雛形 よのたとへくちからこうやひながた 三巻三冊(元表紙・題籤完備の善本) 寛政一 一萬十 曲亭馬琴作

子興画 「ひながた」 版元口上一オ。発句十五ウ(東岡舎羅文) 右と同じ。改装合綴本、題籤欠。

542 世上洒落見繪圖 よのなかしやれけんのゑづ 三巻三冊(元表紙・題籤完備の善本) 寛政三 通油町萬屋 山東京傳作

菊亭主人(京傳) 画 「しやれけん」 自序一オ。角書「亥春新鑑」。

543 頼朝一代記 よりともいちだいき 一二巻二冊(黒本。元表紙、題籤一・九・十一巻のみ存、本文第一巻欠巻) 延享三元 鱗形屋 画工未詳 「頼朝一代記」 角書「新板」 東急本は鶴屋版、内容同一だが青本。

544 契情誠 けいせいのみまことよはさまくみそかのつぎ 三巻三冊(合綴、全丁裏打本、元表紙、題籤上巻のみ存) 天明六 奥村 市場通笑作 鳥居清長画 「つき弥」 十五ウ画工名の枠内に文字なし。清長画は疑問か。東急・加賀本にもなし。角書「新板」

〔ら〕なし。

〔り〕

545 梁山一步談 りやうさんいっぼだん 三卷三冊 (元表紙。題  
籤は欠) 寛政四 つたや 山東京傳作 紅翠齋(北尾重政)画

〔水滸〕 自序一オ。

546 赤本鼠 兩説嬪入奇談 あかほんねすみ  
黒本狐 くろほんきつね  
だん 二卷二冊 (元表紙、題籤上巻のみ存、善本) 寛政一

山口屋 十偏齋(一九) 作画 「よめ入」、「よめいり」(四・七・

八・九丁) 内題 赤本鼠 黒本狐 兩評嬪入抄 (りやうひやうよめいりせ

う) (一オ)、凡例一オ (十偏齋誌)

547 兩頭筆善惡日記 りやうとうふでぜんあくにつき 三卷三冊  
(合綴全丁裏打本、題籤下巻のみ存、本文十四・十五丁欠)

寛政一一 萬十 山東京傳作 「北尾重政」画 「兩頭」 自序

一オ。序文題はフリガナ「りやうとうひつぜんあくにつき」。

548 右と同じ、改装本、題籤欠、本文揃い。裏表紙見返しに『忠  
臣水滸傳』前編その他の広告あり。

〔る〕なし。

〔れ〕

○ 連歌怪談 れんがくわいだん ↓復讎連歌怪談 かたきうち  
れんがくわいだん。

〔ろ〕

549 六冊懸徳用草紙 ろくさつがけとくようさうし 三卷三冊  
(元表紙・題籤完備の善本) 享和二 萬屋重三郎 曲亭馬琴作

〔北尾重政〕画 「徳用」 自序一オ 『五大力士三畫訓』序ごた

いりきみつのよみこゑ、『賣切申候切落咄』序・うりきれまう  
しそろきりおとしばなし)。「六冊掛徳用草紙のよみよう」一

ウ。下巻表裏の各表紙の見返しに当年刊行の出版目録を載す。

〔わ〕

550 夜雅種軍談 やわかくさぐんだん 五卷五冊 (元表紙、題籤  
完備の善本) わわかくさぐんだん 天明七 馬喰町式丁目西村 井久治茂内作 画

工不明 「わかくさ」 東急本も慶大本と同種の題籤卷一のみ

存。慶大本は『黄表紙題籤一覽』年代別・板元別一(浜田義一

郎)によれば天明七刊のものと異なる。西村の求版本か。この  
題籤は浜田氏の『一覽』のどの年代にも相当せず。角書「新



②4

板。写真版参照②。

551 「和莊兵衛」 わさうびやう多 三卷三冊 (改装・合綴・題簽  
欠。黒本) 刊年未詳 鱗形屋(本文一オ・六オ)匡郭上部の商標  
による) 画工不明 「莊」 東急本と同本。但し東急本は『和

莊兵衛一代物語』(寛政九刊)で登録。鱗形屋は天明まで営業。  
和莊兵衛後日話 わさうびやうへごにちばなし 三卷三冊

552 (上巻は改装表紙、他は元表紙。題簽完備、但し上巻のみ題簽  
二枚存、善本) 寛政九 通油町蔦屋 山東京傳作 画工未詳

「和莊」 自序一オ。

553 和田合戦記 わたかつせんき 五卷五冊 (元表紙、題簽一  
二巻のみ存) 刊年未詳 西村與八 七珍万宝作 歌川豊国画

「和田」 序文一オ (署名なし) 角書「新板」 重印本か。本書  
の他の所在未詳。

554 喰類 酥睡 香物 かつせんい、わぼくのこうのもの 三卷三冊  
合戦 麻睡 香物 かつせんい、わぼくのこうのもの 三卷三冊

(元表紙存、題簽中巻のみ一部分存) 享和二 通油町鶴喜 市  
場通笑作 画工未詳 「かうのもの」 自序一オ 『小説年表』  
に歌川豊国画とあり。

555 笑増厄災除講釋 わらいますやくはらいのかうしやく 三卷

三冊 (元表紙・題簽完備の善本) 寛政三 伊勢次 七珍万宝作  
画工未詳 「やくはらい」 自序一オ。『小説年表』に画工勝  
川春英とあり。

556 童麻疹の後 わらんべはしかのあと 二卷二冊 (元表紙。題  
簽欠) 安永五 奥村 鳥居清長画 「わらんべはしかのあと」

加賀本に題簽上巻存、この題簽は浜田義一郎『黄表紙題簽一  
覧』の当該年の題簽と異なる。袋入本のものか。

草雙紙簡明書誌備要

大尾